I·O DATA

オートバックアップ

Easy Saver 3.x

イージーセーバー3.x

取扱説明書



M-MANU200406-03

B-MANU200954-02

もくじ

EasySaverとは？ ……1
必ずお守りください……3

お使いになる前に

EasySaverの動作環境……**5**
箱の中には……**6**

使ってみる

インストールと起動方法……**8**
EasySaverをインストールする……8
EasySaverを起動する……11
EasySaverを終了する……12
バックアップ方法いろいろ……**13**
おまかせバックアップ……**15**
バックアップジョブを新規作成する……**20**
バックアップジョブを開く……**29**
バックアップジョブを設定する……33
バックアップ対象のファイルを選別する……38
バックアップスケジュールを確認・削除する……42
リストア（復元）する……**44**
バックアップしたデータをリストア（復元）する……45
バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する（バックアップデータブラウジング）……48
バックアップジョブを削除する……50
オートバックアップメディアを作成する……**52**
オートバックアップメディアを作成する……52
オートバックアップメディアを設定する……54
オートバックアップメディアにバックアップする……55
オートバックアップメディアの設定を変更する・リストア（復元）する……56

ふろく

バックアップジョブの画面について……**58**
ツールバー……60
EasySaverのプロパティ……**61**
リムーバブルメディアフォーマット/イジェクト権限変更ツールについて**65**
EasySaver Restoreについて……**66**
バックアップ結果の確認について……**69**
EasySaverの削除……**70**
困ったときには……**71**
バックアップ中にスキップする設定……73
お問い合わせ……76

EasySaver とは？

EasySaver（イージーセーバー）は、手軽に手間なくバックアップできるユーティリティソフトです。
簡単な操作でフォルダやファイルを登録し、自動またはマニュアルでハードディスクや MO、DVD-RAM などに大切なデータをバックアップできます。
万一のデータの破損や誤消去に備えることができます。

※MO、DVD-RAM などにバックアップする場合は、あらかじめご利用になる OS でアクセスできるフォーマット形式で初期化しておいてください。

※ドライブの起動管理領域（MBR）のバックアップには対応しておりません。本ソフトウェアを用いてのシステムバックアップ・リストアはおこなえません。

※OS やアプリケーション自体のバックアップ（コピー）はおこなえません。

※旧バージョンの EasySaver や EasySaver 2.0、EasySaver Pro 2005 等との互換性はありません。

主な機能には以下のものがあります。

【フルバックアップ】

バックアップ対象のフォルダやファイルを、常にすべてバックアップします。
万一、バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。

【差分バックアップ】

バックアップ対象のフォルダやファイルの内、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。
変更されたもののみバックアップしますので、フルバックアップに比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。

【スケジュール機能】

あらかじめ登録されたバックアップ対象を、指定された日時／間隔等のスケジュールに従って、自動的にバックアップを実施します。
いったんスケジュールを登録すれば、それ以降はバックアップの実施を意識する必要がありませんので、確実にバックアップを実施できます。

【自動バックアップ】

バックアップ対象フォルダ／ファイルが変更された場合に、自動的にバックアップを実施します。

【バックアップデータの圧縮保存】

バックアップデータを圧縮して保存します。
バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用できます。

【バックアップデータの分割保存】

バックアップデータが一つのディスクに収まらない場合でも、複数のディスクに分割してバックアップできます。

【バックアップ履歴管理機能】

バックアップデータは、バックアップを実施した日時と共に管理されますので、リストア時には過去にバックアップを実施した日時の中からお好きな日時を選択して、その時の状態に復元できます。

【バックアップデータブラウジング】

バックアップしたデータの内容をエクスプローラのような画面で参照することができ、ファイル/フォルダ単位で個別にリストアできます。

【オートバックアップメディア】

MO や DVD-RAM 等のリムーバブルメディアをオートバックアップメディアにできます。

※オートバックアップメディアには、MO、DVD-RAM、パケットライトソフト使用時の CD-R/RW、DVD±R/RW などをご利用ください。
なお、フロッピーディスク、USB メモリー、メモリーカード、iVDR はお使いいただけませんのでご了承ください。



参考

オートバックアップメディアとは・・・

オートバックアップメディアとは、MO や DVD-RAM 等のメディアをドライブにセットするだけで、メディアに設定したバックアップジョブを自動で行えるようにしたメディアです。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

警告および注意

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

必ずお守りください

⚠ 警告


厳守

本ソフトウェアを使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

⚠ 注意


注意

本ソフトウェアを使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。


禁止

本ソフトウェアは以下のような場所で保管・使用しないでください。

破損の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所


禁止

以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本ソフトウェアの上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本ソフトウェアのそばで飲食・喫煙などをしない


注意

本ソフトウェアは、日本国内仕様です。

本ソフトウェアを日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本ソフトウェアに関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめご了承ください。

お使いになる前に

EasySaver の動作環境

EasySaver は以下の環境でお使いになれます。

対応機種	対応 OS
DOS/V マシン （OADG 加盟メーカー）	Windows Vista®(32bit 版のみ対応) Windows XP(32bit 版のみ対応) Windows 2000 Professional

■CPU……Pentium Ⅲ 450MHz 以上推奨

（大量のデータを扱う場合には、より高速な環境をお奨めします。）

■メモリー ……128MB 以上推奨（Windows Vista®では 512MB 以上）

■インストールに必要な空き容量……30MB 以上

（別途バックアップ用の空き容量が必要です。）

■対応メディア

① バックアップ元・・・・・・ハードディスク、MO、DVD-RAM 等ファイルシステムで読み取り可能なメディア全般、マイコンピュータ上に割り当てられたネットワークドライブ

② バックアップ先・・・・・・ハードディスク、MO、DVD-RAM、パケットライトフォーマットされた CD-R/RW や DVD±R/RW 等ファイルシステムで読み書き可能なメディア全般、マイコンピュータ上に割り当てられたネットワークドライブ

※FDD、USB メモリー、フラッシュメモリーカードを除く



注意！

EasySaver でバックアップおよびリストア中は、スタンバイ／休止／スリープなどの省電力モードにすることはできません。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

☐ EasySaver3（1枚）[CD-ROM]



☐ Ver シール（1枚）

シリアル番号(S/N)が
記載されています。

☑ EasySaver3.x 取扱説明書(1冊)[本書]

注意！

CD-ROM は大切に保管してください

CD-ROM を紛失した場合の対応はいたしかねます。

あらかじめご了承ください。

ユーザー登録やダウンロードにはシリアル番号（S/N）が必要

▼ここに本製品に添付されている Ver シールを貼ってください。

Ver シールに記載してあるシリアル番号(S/N)は、ユーザー登録やソフトウェアのダウンロードの際に必要です。

・ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/

・ダウンロード　⇒http://www.iodata.jp/lib/

使ってみる

インストールと起動方法 …… 8
EasySaver をインストールする …… 8
EasySaver を起動する …… 11
EasySaver を終了する …… 12
バックアップ方法いろいろ …… 13
おまかせバックアップ …… 15
バックアップジョブを新規作成する …… 20
バックアップジョブを開く …… 29
バックアップジョブを設定する …… 33
バックアップ対象のファイルを選別する …… 38
バックアップスケジュールを確認・削除する …… 42
リストア（復元）する …… 44
バックアップしたデータをリストア（復元）する …… 45
バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する（バックアップデータブラウジング） …… 48
バックアップジョブを削除する …… 50
オートバックアップメディアを作成する …… 52
オートバックアップメディアを作成する …… 52
オートバックアップメディアを設定する …… 54
オートバックアップメディアにバックアップする …… 55
オートバックアップメディアの設定を変更する・リストア（復元）する …… 56

インストールと起動方法

EasySaver をパソコンにインストールし、起動してみましょう。

注意！

- Windows Vista®/XP/2000 では、コンピュータの管理者のアカウント（Administrator 権限）でログオンしてください。
- 他の弊社製 EasySaver（EasySaver や EasySaver LE 等）をすでにインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから、本ソフトウェアをインストールしてください。
- 他の弊社製 EasySaver（EasySaver や EasySaver LE 等）との互換性はありません。他の EasySaver で作成されたバックアップジョブはリストア・閲覧のみ可能です。（66ページ「EasySaver Restore について」参照）

EasySaver をインストールする

1 「EasySaver3」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

⇒自動的にCDメニューが表示されます。

参考①

自動的に CD メニューが表示されない場合は・・・

「EasySaver3」CD-ROM の中にある［AUTORUN］アイコンをダブルクリックしてください。

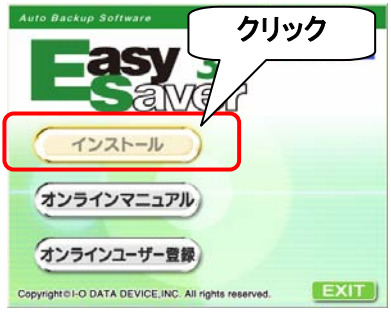
参考②

Windows Vista®ではユーザーアカウント制御の画面が表示されます

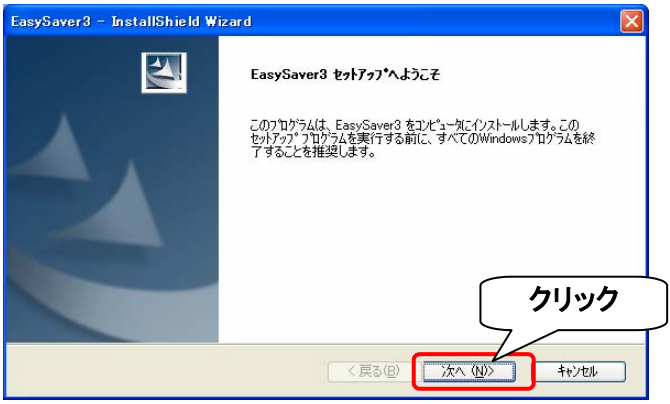
［許可］をクリックします。



2 ［インストール］をクリックします。

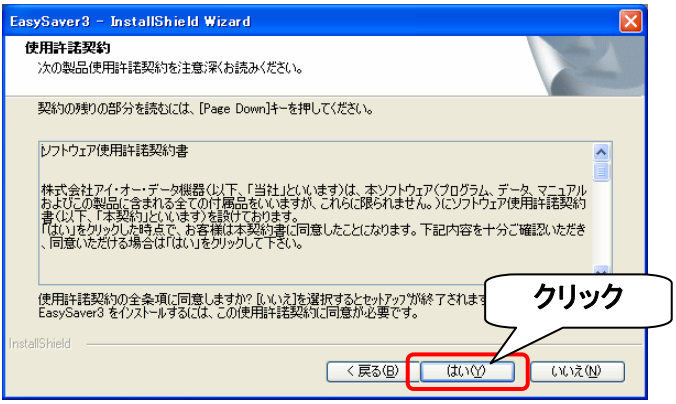


3 [次へ]をクリックします。



4 同意する場合は、[はい]をクリックします。

→インストールを開始します。



注意！

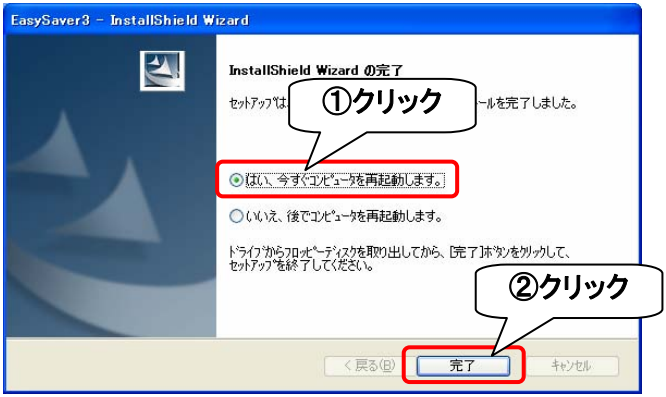
使用許諾契約について
上記画面は、使用許諾契約です。
本ソフトウェアをインストールするには同意が必要です。

5 [次へ]をクリックします。

インストール先フォルダを変更する場合は[参照]ボタンをクリックし、変更してください。



6 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。



以上で、EasySaver のインストールは完了です。
次ページへお進みください。

EasySaver を起動する

インストールした EasySaver は[スタート]メニューから起動できます。

[スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→
[EasySaver3]→[EasySaver3]の順にクリックすれば
本ソフトウェアの起動画面が表示されます。

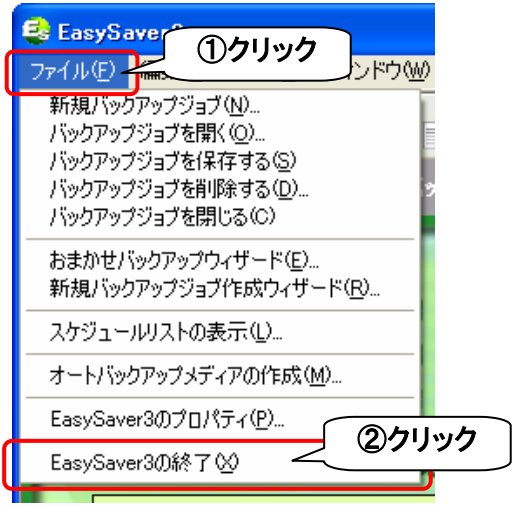
▼画面例:Windows XP



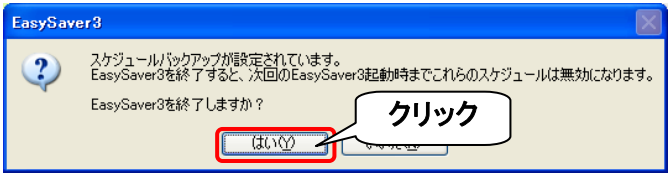
EasySaver を終了する

EasySaver は以下の手順で終了することができます。

1 [ファイル]メニュー→[EasySaver3の終了]でEasySaverを終了できます。



2 以下の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。

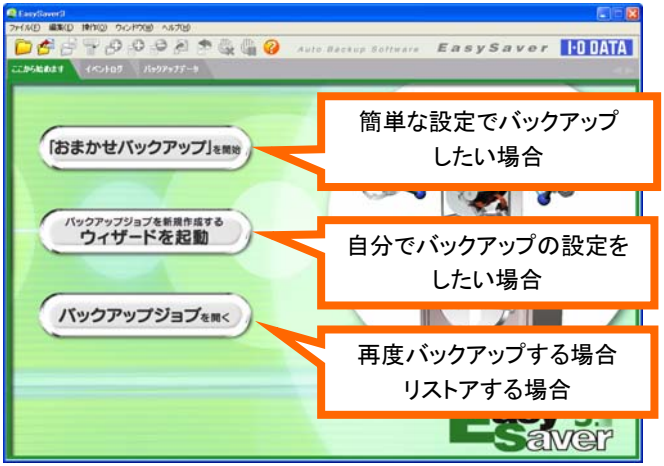


注意！

EasySaver を終了させるには、上記手順の[ファイル]メニュー→[EasySaver の終了]の順にクリックし、行ってください。(完全終了)
※タイトルバーの ボタンでは、スケジュールバックアップを終了できません。(画面は閉じますがスケジュールバックアップは終了されません。)スケジュールバックアップを含む全てのバックアップおよび EasySaver は、上記手順でのみ終了することができます。

バックアップ方法いろいろ

EasySaver では、自分でバックアップの設定を行えるのはもちろん、面倒な設定なしでメールデータなどのバックアップが行える「おまかせバックアップ」も用意しています。



おまかせバックアップ	簡単な設定でバックアップしたい場合にクリックします。 【おまかせバックアップ】(15ページ)参照
ウィザードを起動	バックアップするフォルダやファイルを自分で設定したい場合にクリックします。 【バックアップジョブを新規作成する】(20ページ)参照
バックアップジョブ	バックアップジョブを開いて、再度バックアップする場合やリストアする場合にクリックします。 【バックアップジョブを開く】29ページ)参照

参考

バックアップジョブとは・・・

EasySaver では、バックアップは「バックアップジョブ」という単位で管理されています。まず最初に、バックアップしたいフォルダやファイル、バックアップ先のドライブ、必要に応じてスケジュールなどを指定してバックアップジョブを作成します。
それ以降はバックアップジョブを指定してバックアップを行います。
バックアップジョブはいくつでも作成することができます。
スケジュールなどの設定もバックアップジョブごとに設定できます。
ただし、一旦作成したバックアップジョブにフォルダ/ファイルの追加をしたり、バックアップモードを変更することはできません。このような追加変更が必要な場合は、新たにジョブを作成する必要があります。

注意！

HDPX/HDMX シリーズ（ライトプロテクト時）など、Windows からリムーバブルディスクとして認識されるデバイス（リムーバブルメディアを使用しないタイプのみ）にバックアップする場合、デバイスの空き容量がバックアップに要する容量より少ない場合はバックアップできません。

注意！

EasySaver でバックアップおよびリストア中は、スタンバイ／休止／スリープなどの省電力モードにすることはできません。

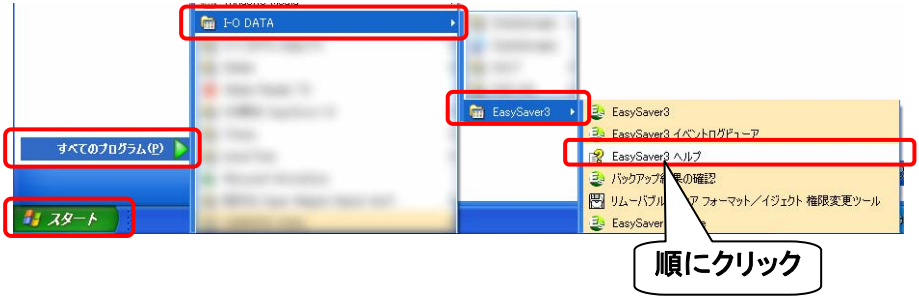
参考

EasySaver3 ヘルプもご利用ください

EasySaver の詳細については、「EasySaver3 ヘルプ」をご覧ください。

「EasySaver3 ヘルプ」は以下を順にクリックして起動できます。

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA］→［EasySaver3］→［EasySaver3 ヘルプ］



おまかせバックアップ

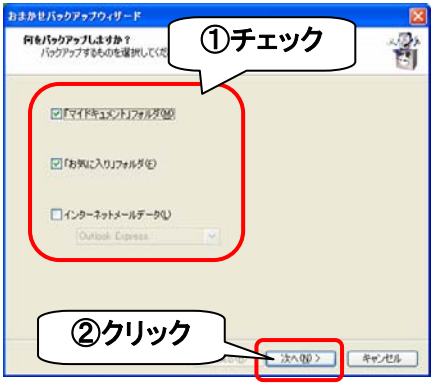
EasySaver 起動画面の[おまかせバックアップ]では、お使いのパソコンの「マイドキュメントフォルダ」「お気に入りフォルダ」「インターネットメールデータ」などを簡単にバックアップすることができます。

1 起動画面の[おまかせバックアップ]をクリックします。



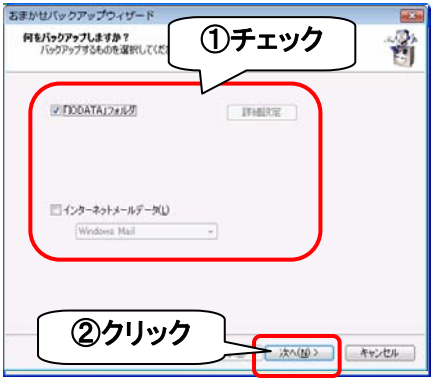
2 バックアップするフォルダやデータをチェックします。チェック後、[次へ]をクリックします。

▼ Windows Vista®以外の場合（画面例：Windows XP）



「マイドキュメント」フォルダ	「マイドキュメント」フォルダ内のフォルダやファイルをバックアップします。
「お気に入り」フォルダ	Internet Explorer の「お気に入り」をバックアップします。
インターネットメールデータ	Outlook Express または Becky!のメールデータをバックアップします。

▼ Windows Vista®の場合



「ユーザー」フォルダ	「ユーザー」フォルダ内のフォルダやファイルをバックアップします。 *※「ユーザー」フォルダにはお気に入りや、ドキュメント、マイミュージック等のデータが全て含まれています。* *※「ユーザー」フォルダのチェックを外し、[詳細設定]ボタンをクリックすると、バックアップしたい「ユーザー」フォルダを任意に選択できます。*
インターネットメールデータ	Windows Mail または Becky!のメールデータをバックアップします。

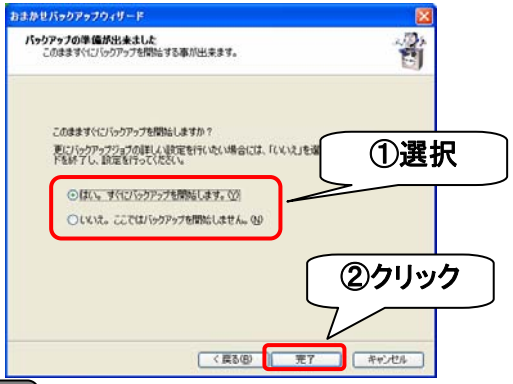
注意！

Windows Vista®/XP/2000 では、ログオンしたユーザーのフォルダおよびファイルが対象となります。

3 [バックアップ先ドライブ]を選択し、[次へ]をクリックします。



4 すぐにバックアップを開始するかどうかを選択し、[完了]をクリックします。「はい、すぐにバックアップを開始します。」を選択した場合は、設定した内容ですぐにバックアップを開始します。



参考

[はい、すぐにバックアップを開始します。]を選択した場合は差分バックアップになります。フルバックアップに変更したい場合、フォルダやファイルの追加、各設定変更を行いたい場合は、[いいえ、ここではバックアップを開始しません。]を選択し、変更を行ってください。

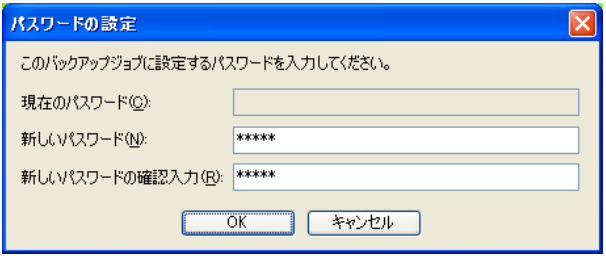
また、バックアップをクリックすると、設定した内容でバックアップを開始します。

（一度バックアップをおこなうと、バックアップモードの変更やフォルダやファイルの追加はできません。）

・スケジュール設定などバックアップジョブの設定をおこなう場合は
→[バックアップジョブを設定する]33ページ参照

・バックアップするファイルを選別する場合は
→[バックアップ対象のファイルを選別する] 38ページ参照

5 [パスワードの設定]画面が表示されます。
このバックアップジョブにパスワードを設定する場合は、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認]欄に同じパスワードを入力後、[OK]をクリックします。
※パスワードは必ずメモしてください。
※パスワードが不要な場合は、空白のまま[OK]をクリックしてください。

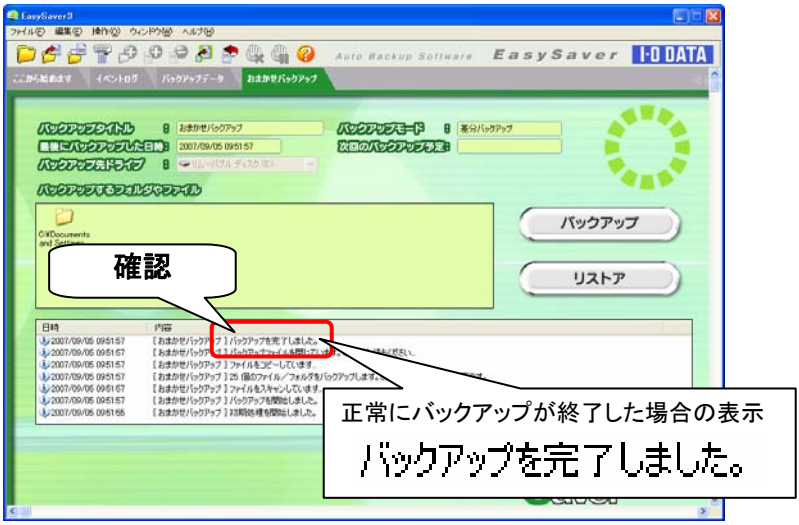


現在のパスワード	現在設定しているパスワードを入力します。 (半角英数字で最大16文字まで入力可) 初めてパスワードを設定する場合は必要ありません。 パスワードを設定していない場合は空欄のままにします。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。 (半角英数字で最大16文字まで入力可) 初めてパスワードを設定する場合や以前のパスワードを変更する場合に入力します。 パスワードを設定しない、変更しない場合は空欄のままにします。
新しいパスワードの確認入力	上記[新しいパスワード]と同じパスワードを入力します。

注意！

・パスワードを忘れた場合、バックアップおよびリストアを行うことができません。必ず、何かにメモしてください。
・パスワードは「****」と表示され確認できません。大文字・小文字の区別もありますので、お間違えないようご注意ください。**
・上記は初めてパスワードを設定する場合の画面です。以前にパスワードを設定した場合は、[現在のパスワード]欄にパスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。
・次回、パスワードを変更する場合は、上記[現在のパスワード]欄に現在設定しているパスワードを入力後、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認]欄に新しいパスワードを入力します。

6 バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップが完了しました。」と表示されます。



注意！

**正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。
そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。**

以上で「おまかせバックアップ」は終了です。
作成したバックアップジョブの再実行やリストア、またバックアップジョブの各設定をおこなう場合は、【バックアップジョブを開く】29ページへお進みください。

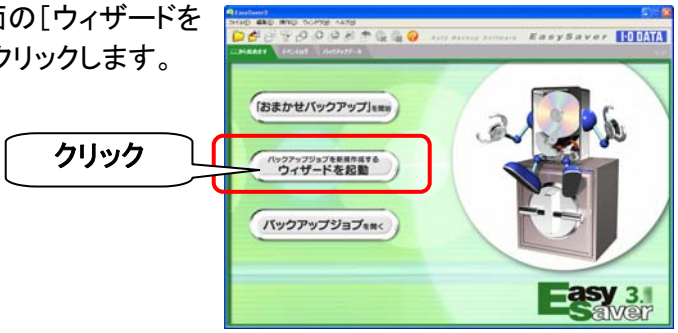
バックアップジョブを新規作成する

おまかせバックアップでバックアップできないデータを保存する場合はバックアップジョブを新規で作成します。
あらかじめ、バックアップしたいファイル、データがどこにあるかをアプリケーション等の取扱説明書でご確認ください。

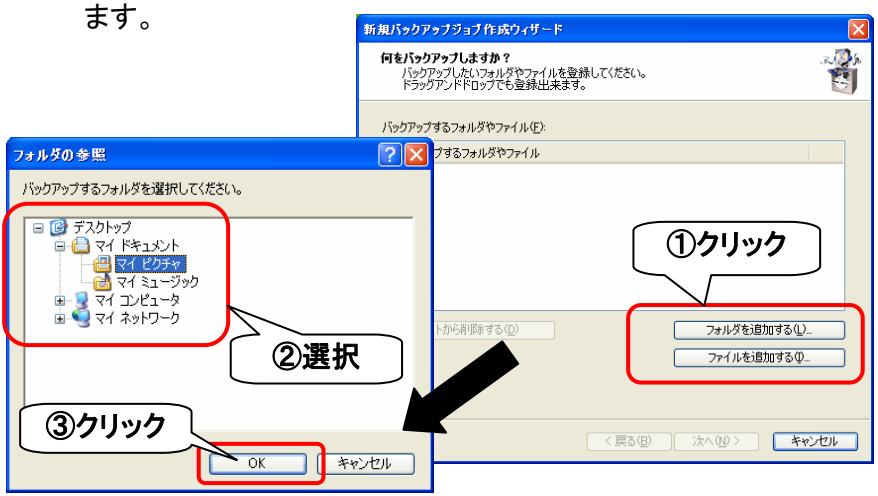
注意！

弊社では、アプリケーション等のバックアップしたいファイル、データの場所については、お答えできません。また、OS やアプリケーション自体のバックアップ（コピー）はおこなえません。

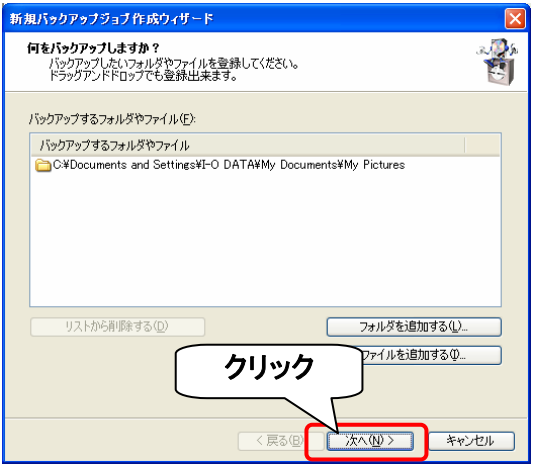
1 起動画面の［ウィザードを起動］をクリックします。



2 ［フォルダを追加する］や［ファイルを追加する］をクリックします。バックアップするフォルダやファイルを選択し、［OK］をクリックします。



3 [次へ]をクリックします。



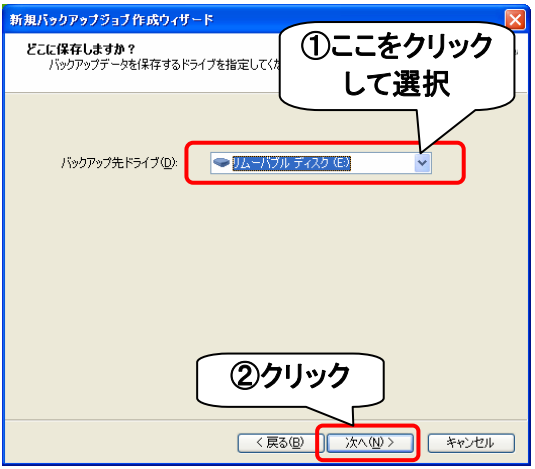
注意！

ショートカットアイコン（拡張子が .lnk のファイル）をバックアップする際には、別途エクスプローラやデスクトップ上から直接ドラッグアンドドロップで登録してください。

参考

エクスプローラなどからバックアップしたいファイルやフォルダを直接ドラッグアンドドロップで登録することもできます。

4 [バックアップ先ドライブ]を選択し、[次へ]をクリックします。



5 [バックアップの動作オプション]を選択後、[次へ]をクリックします。

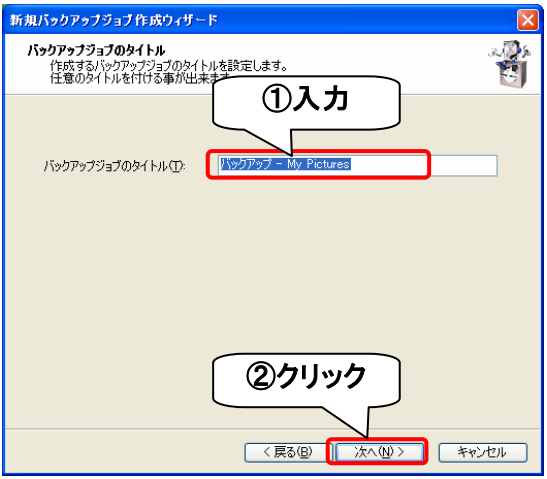


フルバックアップ	バックアップ対象のフォルダやファイルを常にすべてバックアップします。 万一バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑えることができます。 ただし、より多くのバックアップするためのディスクスペースを必要とします。 ※容量が小さなメディア(MO や Zip 等)に複数枚にわたってバックアップする場合(分割バックアップ)は、こちらを選択してください。
差分バックアップ	バックアップ対象のフォルダやファイルのうち、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。 変更されたもののみをバックアップしますので、[フルバックアップ]に比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。 ※ただし容量が小さなメディア(MO や Zip 等)に複数枚にわたってバックアップすること(分割バックアップ)はできません。

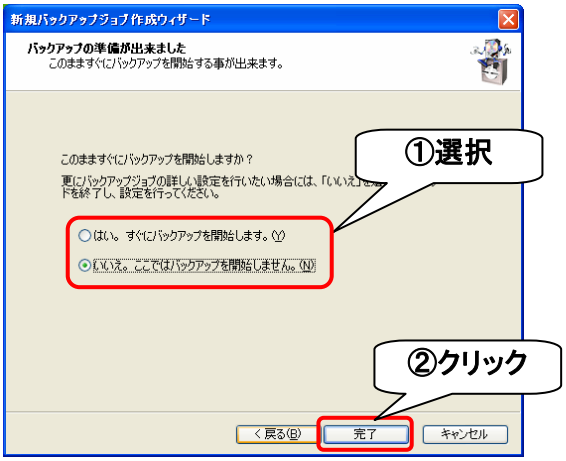
注意！

[バックアップジョブの設定]画面(33ページ)で[バックアップデータ]に[世代数]を設定している場合は、世代数に応じたバックアップを行います。

6 [バックアップジョブのタイトル]を入力後、[次へ]をクリックします。
「デジカメデータ」などわかりやすい名前でつけておくと便利です。



7 すぐにバックアップを開始するかどうか選択し、[完了]をクリックします。「はい。すぐにバックアップを開始します。」を選択した場合は、設定した内容ですぐにバックアップを開始します。



参考

[いいえ。ここではバックアップを開始しません。]を選択した場合、バックアップジョブ画面でフォルダやファイルの追加や、各設定がおこなえます。また、バックアップをクリックすると、設定した内容でバックアップを開始します。
（一度バックアップをおこなうと、バックアップモードの変更やフォルダやファイルの追加はできません。）
・スケジュール設定などバックアップジョブの設定をおこなう場合は
→[バックアップジョブを設定する]33ページ参照
・バックアップするファイルを選別する場合は
→[バックアップ対象のファイルを選別する] 38ページ参照

参考

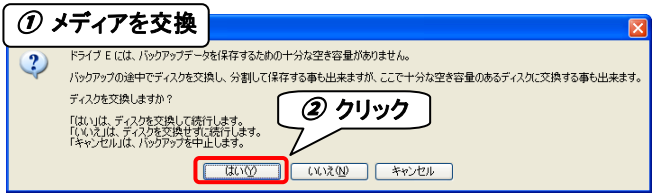
バックアップ先に十分な空き容量がない場合は、分割してバックアップをおこないます。
以下のいずれかの方法でメディアを交換し、バックアップをおこなってください。
※「差分バックアップ」の設定にしている場合、分割バックアップはおこなえません。

方法1：バックアップ先のメディアを交換する

バックアップ先のメディアを十分な空き容量のあるメディアに交換する方法です。

① 下記のメッセージが表示されましたら、バックアップ先のメディアを十分な空き容量のあるメディアに交換します。

② メディア交換後、下記画面の[はい]ボタンをクリックします



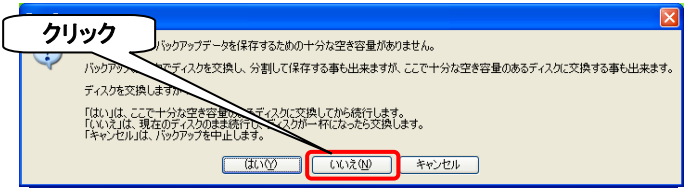
バックアップを続行します。

２７ページ**8** の手順へお進みください。

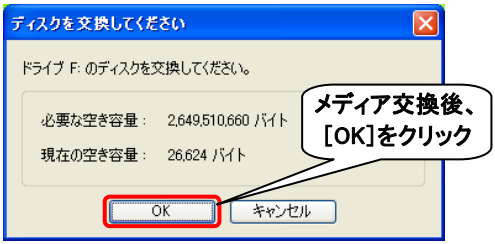
方法2：分割バックアップを行う

複数のメディアに分割してバックアップする方法です。
以下の手順および画面となります。

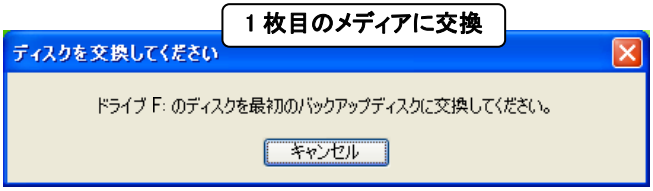
① 下記画面の[いいえ]ボタンをクリックします。
→バックアップを開始します。



② 途中で以下の画面が表示されます。
バックアップ先のメディアを交換し、[OK]をクリックします。

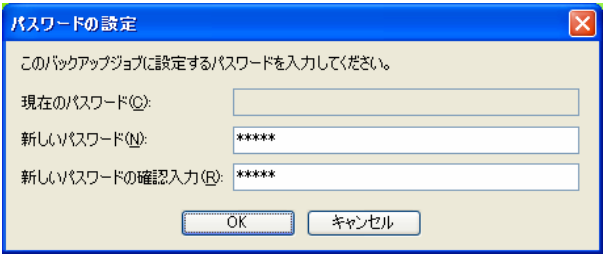


③ すべてのバックアップが終了すると、以下の画面が表示されます。
最初にバックアップしたメディアに交換します。



バックアップを続行します。
次ページ**8** の手順へお進みください。

8 [パスワードの設定]画面が表示されます。
このバックアップジョブにパスワードを設定する場合は、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認]欄に同じパスワードを入力後、[OK]をクリックします。
※パスワードは必ずメモしてください。
※パスワードが不要な場合は、空白のまま[OK]をクリックしてください。

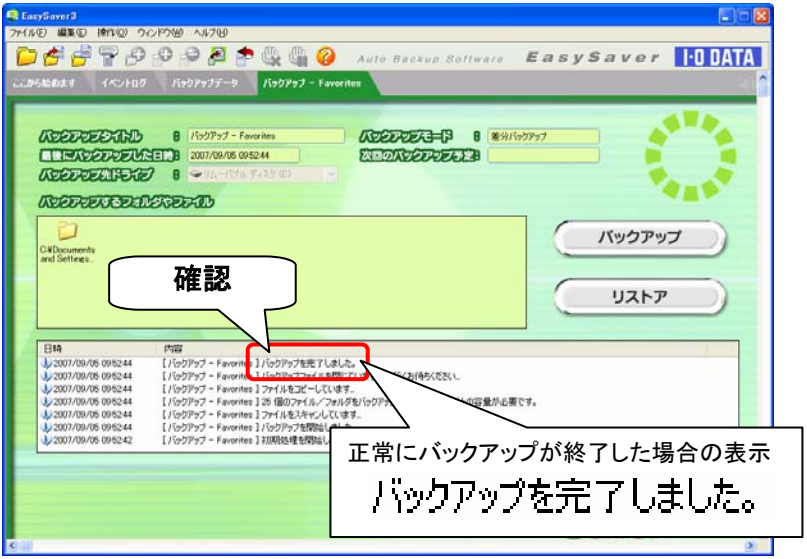


現在のパスワード	現在設定しているパスワードを入力します。 (半角英数字で最大16文字まで入力可) 初めてパスワードを設定する場合は必要ありません。 パスワードを設定していない場合は空欄のままにします。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。 (半角英数字で最大16文字まで入力可) 初めてパスワードを設定する場合や以前のパスワードを変更する場合に入力します。 パスワードを設定しない、変更しない場合は空欄のままにします。
新しいパスワードの確認入力	上記[新しいパスワード]と同じパスワードを入力します。

注意！

・パスワードを忘れた場合、バックアップを行うことができません。
必ず、何かにメモしてください。
また、複数のバックアップジョブにパスワードを設定する場合、どのバックアップジョブのパスワードかわからなくならないようご注意ください。
・パスワードは「****」と表示され確認できません。**
大文字・小文字の区別もありますので、お間違えないようご注意ください。
・上記は初めてパスワードを設定する場合の画面です。
以前にパスワードを設定した場合は、[現在のパスワード]欄にパスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。
・次回、パスワードを変更する場合は、上記[現在のパスワード]欄に現在設定しているパスワードを入力後、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認]欄に新しいパスワードを入力します。

9 バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップを完了しました。」と表示されます。



注意！

**正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。
そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。
また、バックアップできないフォルダやファイルをスキップしてバックアップすることができます。詳しくは【困ったときには】の「バックアップ中にスキップする設定」69 ページを参照してください。**

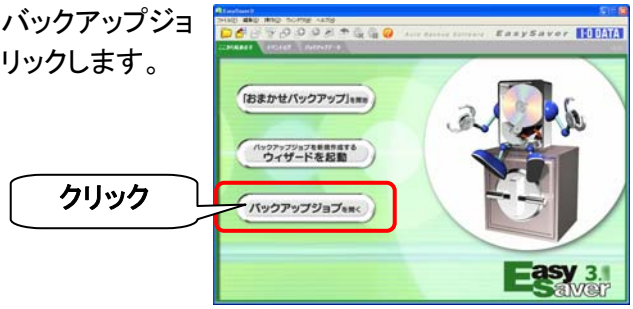
以上で「ウィザードを起動」でのバックアップは終了です。
作成したバックアップジョブの再実行やリストア、またバックアップジョブの各設定をおこなう場合は次ページ【バックアップジョブを開く】へお進みください。

バックアップジョブを開く

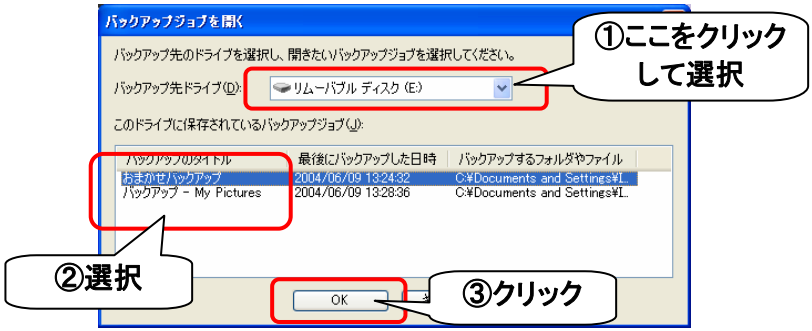
EasySaver でのバックアップを一度でも完了していれば、バックアップジョブが作成されます。

EasySaver 起動画面の［バックアップジョブを開く］では、作成したバックアップジョブの再実行や、リストア、また、作成したバックアップジョブのスケジュールバックアップ設定や自動バックアップ設定、バックアップ対象とするファイルの拡張子の設定などの設定を行うことができます。*※ただし、フォルダやファイルの追加はおこなえません。新たにバックアップジョブを作成する必要があります。*

1 起動画面の［バックアップジョブを開く］をクリックします。



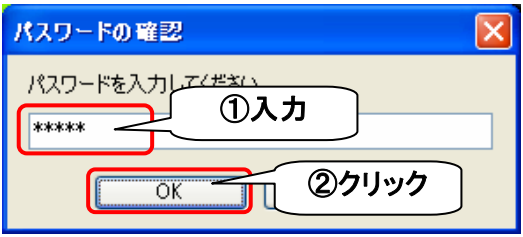
2 EasySaverで以前にバックアップジョブを保存したドライブを選択します。以前にバックアップしたバックアップジョブが表示されますので、選択後、［OK］をクリックします。



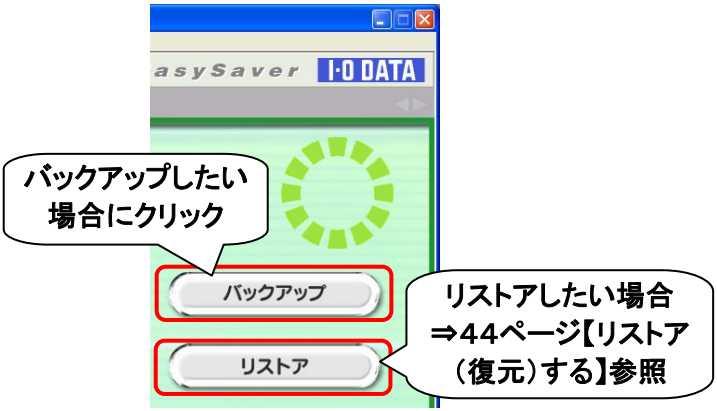
注意！

多数のファイルがバックアップされたバックアップジョブを開く場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。（ファイル数にもよりますが、長い場合で 30 分近くかかる場合もあります。）

3 バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は、以下の画面が表示されます。
設定したパスワードを入力後、[OK]をクリックします。



4 再度バックアップを行う場合は バックアップ (バックアップ)を、リストア(復元)を行う場合は リストア (リストア)をクリックします。



注意！

Windows Vista®/XP/2000 では、ログオンしたユーザーのフォルダおよびファイルが対象となります。

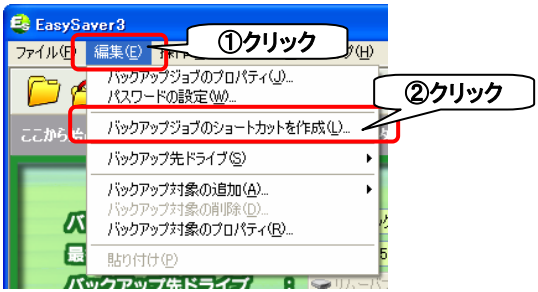
参考

バックアップジョブ画面で設定の変更がおこなえます。
・スケジュールバックアップや自動バックアップなどの設定をおこなう場合は
→[バックアップジョブを設定する]33ページ参照
・バックアップするファイルを選別する場合は
→[バックアップ対象のファイルを選別する] 38ページ参照

参考

[編集]メニューの[バックアップジョブのショートカットを作成]で、バックアップジョブのショートカットを作成することができます。

① [編集]→[バックアップジョブのショートカットを作成]をクリックします。



② [参照]ボタンをクリックし、ショートカットの保存先を選択します。



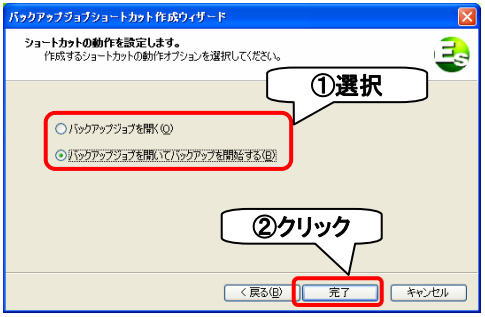
③ [次へ]ボタンをクリックします。



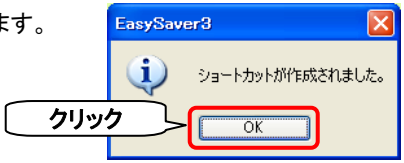
④ [ショートカットの名前]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



⑤ ショートカットを開いたときの動作を選択し、[完了]ボタンをクリックします。



⑤ [OK]ボタンをクリックします。



以上でバックアップジョブのショートカット作成は完了です。

バックアップジョブを設定する

（バックアップジョブのプロパティ）をクリックすれば、スケジュールバックアップや自動バックアップの設定などのバックアップジョブの設定が行えます。

（バックアップジョブのプロパティ）をクリックします。

→[バックアップジョブの設定]画面が表示されます。



「バックアップジョブの設定」画面
（次ページ参照）



参考①

一旦作成したバックアップジョブにファイルやフォルダの追加をしたり、バックアップモードを変更することはできません。このような追加変更が必要な場合は、新たにジョブを作成する必要があります。



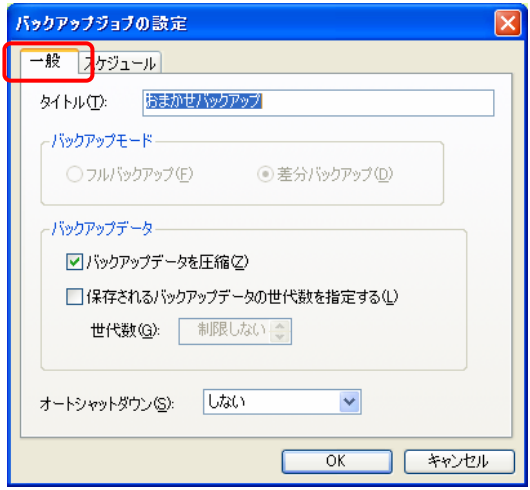
参考②

スケジュールバックアップや自動バックアップを設定すると、EasySaver が自動的にタスクトレイに常駐します。また「EasySaver3 のプロパティ」でタスクトレイアイコンの表示/非表示設定がおこなえます。
（61ページ【EasySaver のプロパティについて】参照）

○「バックアップジョブの設定」画面の詳細

「バックアップの設定」画面には、バックアップジョブの一般的な設定などを行う[一般]タブと、バックアップジョブのスケジュールを設定できる[スケジュール]タブがあります。

◎[一般]タブ



タイトル	バックアップジョブのタイトルです。
バックアップモード	このバックアップジョブのバックアップ方式を指定します。(一度バックアップを行うと、バックアップモードの変更はできません。) *・フルバックアップ* バックアップ対象のフォルダやファイルを、常にすべてバックアップします。万一、バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。 ※容量が小さなメディア(MO や Zip 等)に複数枚にわたってバックアップする場合(分割バックアップ)は、こちらを選択してください。 *・差分バックアップ* バックアップ対象のフォルダやファイルの内、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。変更されたもののみバックアップしますので、フルバックアップに比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。 ※ただし容量が小さなメディア(MO や Zip 等)に複数枚にわたってバックアップすること(分割バックアップ)はできません。

バックアップデータ	バックアップデータを圧縮	チェックすると、バックアップデータを圧縮して保存します。バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用する事ができます。 ***※ バックアップデータを圧縮する時間がかかるため、バックアップ時間が若干遅くなります。*** ***※ バックアップするデータによってはあまり効果が期待できない場合があります。***
	保存されるバックアップデータの世代数を指定する	チェックすると、保存されるバックアップデータの世代数を指定できます。(下記【参考】を参照) バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用する事ができます。 フルバックアップ／差分バックアップの両方に対応しています。
オートシャットダウン	バックアップを完了した後、自動的にパソコンを終了(シャットダウン)します。 スケジュールを設定してあるバックアップジョブでも、オートシャットダウンを設定するとバックアップ後、自動的にパソコンを終了(シャットダウン)します。 指定できるシャットダウンの種類には、「しない」「シャットダウン」「スタンバイ」「休止状態」の4つがあります。	



参考

[バックアップデータ]の[世代数]について

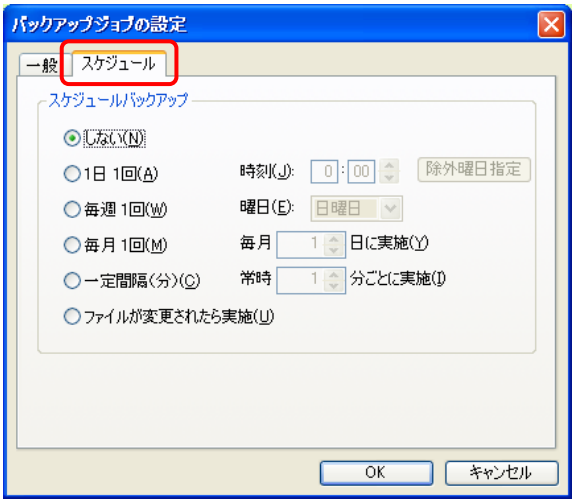
[フルバックアップ]時には、指定された世代数以前のバックアップデータを削除します。
[差分バックアップ]時には、指定された世代数以前のデータを結合して一つのデータにまとめます。ただし、世代数「1」を指定した場合は、毎回以前のデータを削除します。
また、多数のファイルがバックアップされている場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

例えば、世代数「3」を設定している場合、3 回目のバックアップまでは通常通りの動作をし、4 回目のバックアップを行う際に、第 1 世代と第 2 世代のバックアップデータを結合した上でそれを第 2 世代とし、1 世代分の空きを作り(第 1 世代は削除されます)、4 回目のバックアップを行います。

【3 回目】		【4 回目】		【5 回目】
第 1 世代		第 2 世代		第 3 世代
第 2 世代	→	第 3 世代	→	第 4 世代
第 3 世代		第 4 世代		第 5 世代

◎[スケジュール]タブ

指定されたスケジュールに従って自動的にバックアップを実施できます。
（スケジュールバックアップ機能）



しない	スケジュールを設定しません。 このバックアップジョブを常に手動でバックアップする場合にはこれを指定します。
1 日 1 回	毎日 1 回、指定された時間にバックアップを実施します。 「時刻」でバックアップを実施する時刻を指定してください。 また、[除外曜日指定]より指定した曜日のバックアップをおこなわないように設定できます。
毎週 1 回	毎週 1 回、指定された曜日／時間にバックアップを実施します。 「曜日」でバックアップを実施する曜日を指定し、「時刻」でバックアップを実施する時刻を指定してください。
毎月 1 回	毎月 1 回、指定された日／時間にバックアップを実施します。 「毎月～日に実施」でバックアップを実施する日と時刻を指定してください。
一定間隔（分）	パソコンが起動している間、指定された間隔でバックアップを実施します。 「常時～分ごとに実施」でバックアップを実施する間隔を分単位で指定してください。（次ページ「一定間隔（分）について」参照）
ファイルが変更されたら実施	バックアップ対象のフォルダ／ファイルが変更された場合に、自動的にバックアップを実施します。 ***（自動バックアップ機能）***

注意！

スケジュールバックアップの「一定間隔(分)」の時間は、バックアップの作業が終了してからの時間です。
例えば、「一定間隔(分)」に 120 分を設定し、バックアップ作業に 10 分要した場合、バックアップが終了した時間から 120 分後（前回のバックアップ開始から 130 分後）に再度バックアップを開始します。
「一定間隔(分)」間隔でバックアップが開始されるバックアップ設定ではありません。

注意！

スケジュールバックアップ・自動バックアップの設定を行うと、EasySaver が常駐します。また、スケジュールバックアップ・自動バックアップの設定時、タスクトレイにアイコンを表示させることができます。（タスクトレイのアイコン表示設定方法は【EasySaver のプロパティについて】61ページ参照）

注意！

EasySaver を終了させるには、［ファイル］メニュー→［EasySaver3 の終了］の順にクリックし、行ってください。（完全終了）
※タイトルバーの ボタンでは、スケジュールバックアップを終了できません。（画面は閉じますがスケジュールバックアップは終了されません。）スケジュールバックアップを含む全てのバックアップおよび EasySaver は、上記手順でのみ終了することができます。

参考

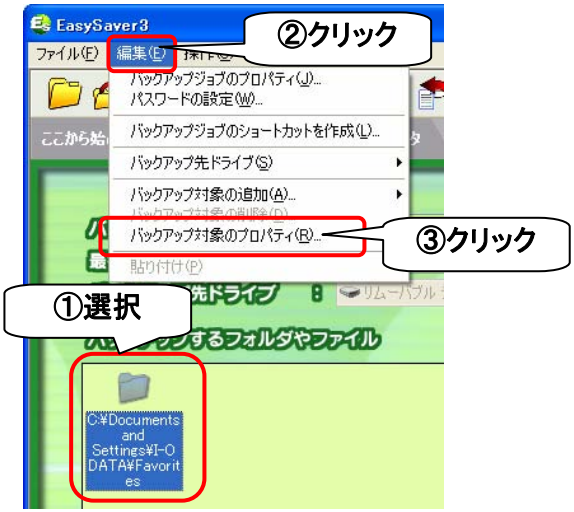
スケジュールの延期について

スケジュールバックアップでは、EasySaver は次のような動作をします。
スケジュールで指定された時刻にバックアップを実施できなかった場合（パソコンに電源が入っていなかった、バックアップ先のドライブにメディアが入っていなかった、EasySaver を終了していた…等）、EasySaver は、そのスケジュールを一時延期し、バックアップが可能になり次第そのバックアップを開始します。
また、スケジュールが延期されている状態で、さらにその次のスケジュールも実行できなかった場合には、そのスケジュールはキャンセルされ、最初のスケジュールのみが待機します。
つまり、何度もスケジュールを実行できなかった場合でも、バックアップが可能になって実施されるバックアップは 1 回だけです。

バックアップ対象のファイルを選別する

[編集]メニューの[バックアップ対象のプロパティ]で、バックアップ対象とするファイルの拡張子によってバックアップするファイルを選別することもできます。

1 バックアップ対象リストで選別するフォルダやファイルを選択後、メニューの[編集]→[バックアップ対象のプロパティ]をクリックします。



2 [拡張子フィルタ]にチェック後、[拡張子]欄にバックアップを選別するファイルの拡張子を入力します。

※複数の拡張子を指定したい場合には、「;」(セミコロン)で区切って入力してください。

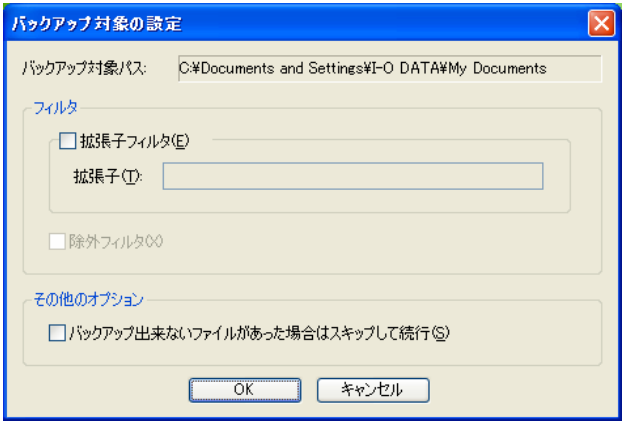
バックアップしたくないファイルを選別する場合は、[除外フィルタ]にチェックします。

設定後、[OK]をクリックします。



以上で設定は終了です。

○「バックアップ対象の設定」画面の詳細



フィルタ	ファイルの拡張子によってバックアップファイルを選別する機能です。	
	拡張子 フィルタ	拡張子によってバックアップファイルを選別する場合にチェックします。
	拡張子	選別する拡張子を入力します。 例） A.txt ファイルの場合は txt の 3 文字 複数の拡張子を指定したい場合には、「;」(セミコロン)で区切って入力してください。
	除外 フィルタ	「バックアップしたくない」ファイルを設定する場合にチェックします。 上記「拡張子」欄で指定された拡張子を持つファイル「以外」のファイルがバックアップされるようになります。
その他の オプション	[**バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行**]をチェックすると、バックアップ中に、バックアップできないファイルが見つかった場合でも、エラー終了せずにそのファイルをスキップしてバックアップを続行するようになります。 (次ページ【参考】参照)	



参考

ファイルをバックアップできない状況には、以下のようなものがあります。

・ファイルがロックされている

一部のアプリケーションでは、使用中のファイルを他のアプリケーションから読み取られないようにロックする場合があり、そのようなファイルはバックアップする事ができません。

基本的には、全てのアプリケーションを終了してからバックアップを実行する事をお勧めしますが、常時起動しているアプリケーションが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合などに、前ページ画面の[バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行]のチェックボックスをチェックします。

・ファイル／フォルダ名に特殊な文字が使用されている

一部の特殊な文字をファイル名に使用しているとバックアップできない場合があります。

そのようなファイルも、前ページ画面の[バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行]のチェックボックスをチェックしてスキップする事ができます。

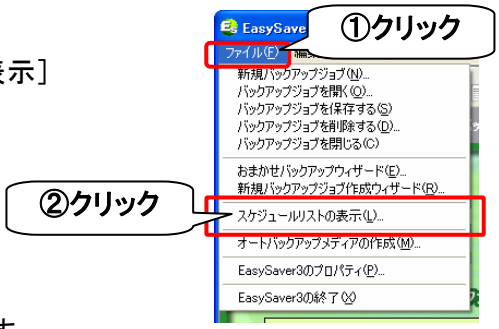
※スキップされたファイル名はイベントログに表示されます。ファイル名中の「?」で表示されている部分が該当する文字です。

バックアップスケジュールを確認・削除する

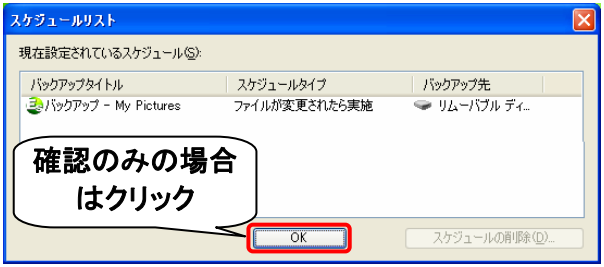
33ページ[バックアップジョブを設定する]の[スケジュール]タブで設定したバックアップジョブのスケジュールは、[ファイル]メニューの[スケジュールリストの表示]で、確認することができます。

また、スケジュール内容の変更等で不要となったスケジュールを削除することもできます。(スケジュールのみ削除されます。データは残ります。)

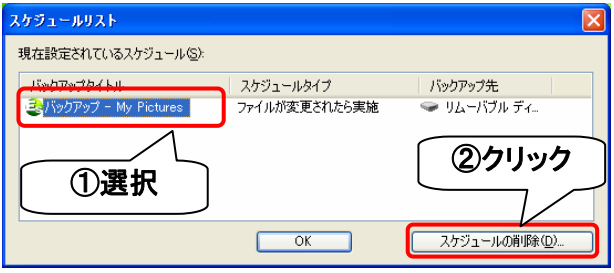
1 メニューの[ファイル]→[スケジュールリストの表示]をクリックします。



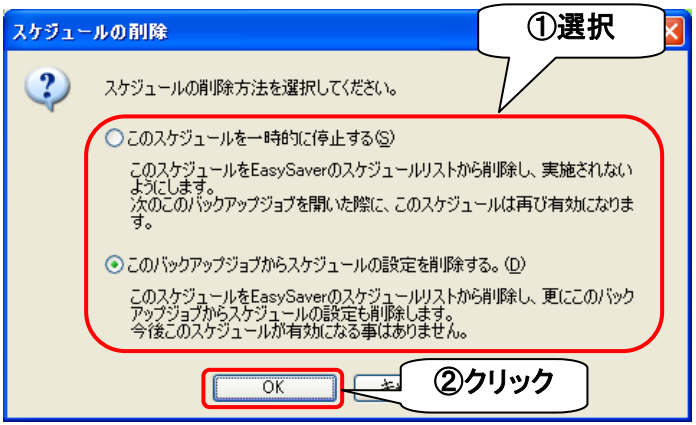
2 確認画面が表示されます。
確認のみの場合は、そのまま[OK]をクリックします。



3 スケジュールを削除する場合は、削除する[バックアップタイトル]を選択後、[スケジュールの削除]をクリックします。



4 削除方法を選択後、[OK]をクリックします。

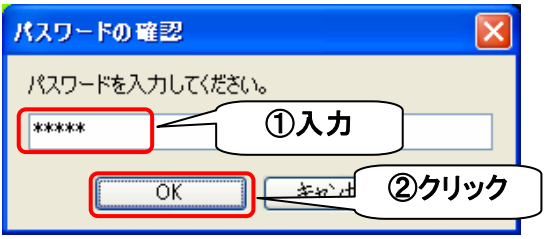


注意！

スケジュールのみ削除されます。
データは残ったままとなります。

注意！

バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は以下の画面が表示されます。パスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。



以上でスケジュールの確認・削除は終了です。

リストア（復元）する

リストアの方式について

バックアップをおこなったフォルダ・ファイルのリストアには 2 通りの方法があります。

方法 1：バックアップジョブを開き、元のフォルダにリストアする場合（次ページ[バックアップしたデータをリストア（復元）する]参照）

バックアップしたフォルダ/ファイルの元のフォルダにリストアされます。
（リストア先の選択はできません。）
次ページ**4** の手順の[リストアオプション]で「現在のフォルダ／ファイルにそのまま上書き」を指定すると、現在存在するフォルダ／ファイルに対してバックアップデータを上書きします。この場合は、フォルダ／ファイルの作成や上書きしか行いませんので、バックアップ後に追加されたフォルダやファイルはそのまま残ります。

例）

ファイル 1 2004/04/13 ファイル 2 2004/04/14	ファイル 1 2004/04/15 ファイル 2 2004/04/16 ファイル 3 2004/04/17 ファイル 4 2004/04/18	ファイル 1 2004/04/13 ファイル 2 2004/04/14 ファイル 3 2004/04/17 ファイル 4 2004/04/18
バックアップを実施した時の状態。	**リストア開始前の状態。**バックアップ後に、ファイル 1、2 が変更され、ファイル 3、4 が追加されている。	**リストアを実施した後の状態。**ファイル 1、2 がリストアにより復元（上書き）され、ファイル 3、4 はそのまま残っている。

フォルダ内の構成を完全に「バックアップを実施した時の状態」にリストアしたい場合は、次ページ**4**の手順の[リストアオプション]で、「現在のフォルダ/ファイルを削除してからリストア」を選択してください。

方法2：[バックアップデータ]ウィンドウからフォルダ/ファイルを選択し、任意の場所にリストアする場合

（[バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する（バックアップデータブラウジング）] 48ページ参照）

[バックアップデータ]ウィンドウからエクスプローラ感覚でバックアップジョブを確認し、フォルダ/ファイル単位でリストアすることができます。また、リストア先を任意で選択できます。なお、バックアップしたフォルダ/ファイルの元のフォルダにリストアした場合は、同じフォルダ/ファイル名は上書きとなります。（バックアップ後に追加されたフォルダ/ファイルはそのまま残ります。）

バックアップしたデータをリストア（復元）する

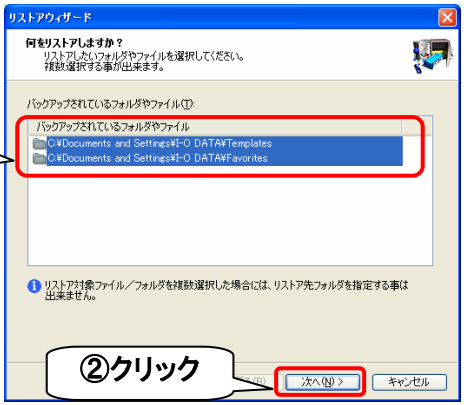
バックアップジョブを開いてリストアする手順を説明します。

1 バックアップジョブを開きます。
（【バックアップジョブを開く】29ページ参照）

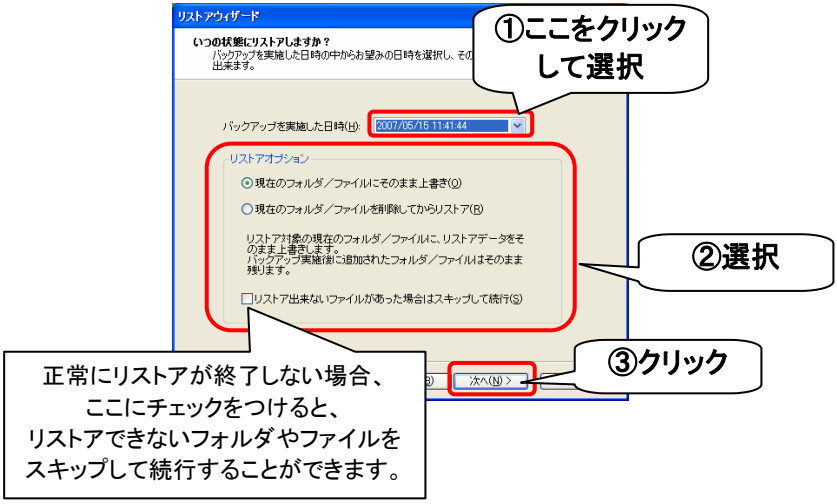
2 

（リストア）をクリックします。

3 リストアするファイルやフォルダを確認後、クリックし、[次へ]をクリックします。

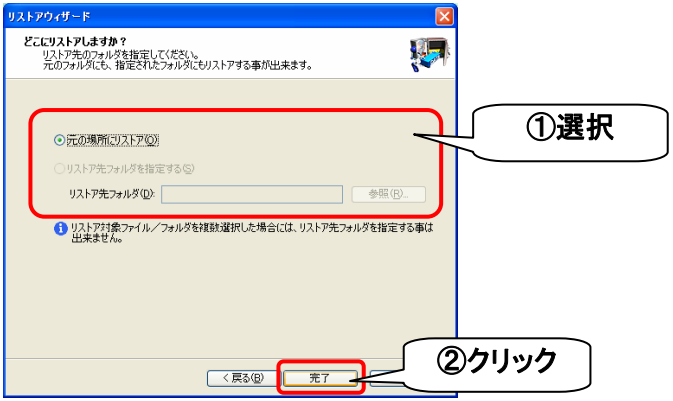


4 バックアップした日時の中からリストアしたいフォルダ/ファイルの日時を選択し、[リストアオプション]を選択後、[次へ]をクリックします。



5 リストア先のフォルダを指定し、[完了]をクリックします。

→リストアを開始します。



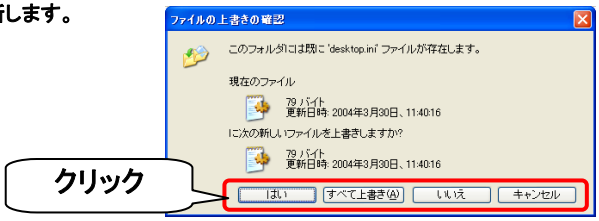
注意！

複数のフォルダ/ファイルを一度にリストアする場合は、[元の場所にリストア]のみ選択可能です。

参考①

[リストアオプション]で[現在のフォルダ/ファイルにそのまま上書き]を選択した場合に、リストア先にすでにファイルがある場合は、以下の画面が表示されます。

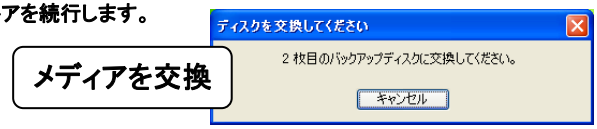
上書きする場合は[はい]を、しない場合は[いいえ]をクリックします。[すべて上書き]をクリックするとすべてのファイルを上書きします。[キャンセル]をクリックするとリストアを中断します。



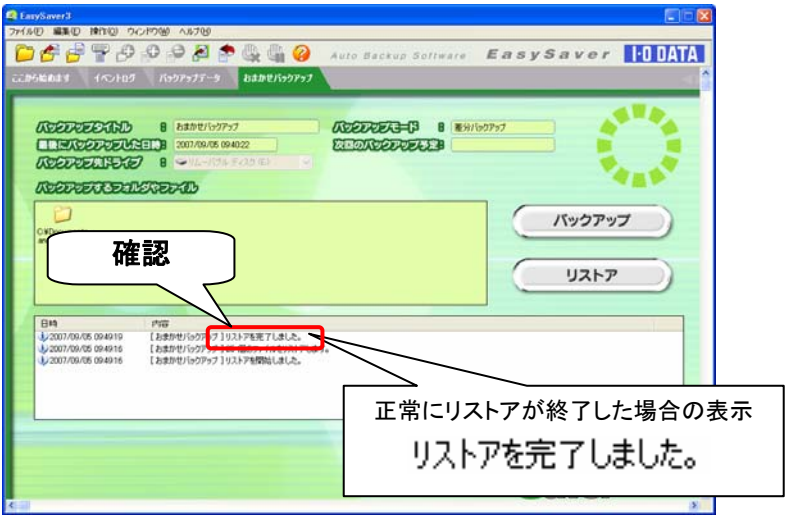
参考②

複数のメディアにバックアップしていた場合は、以下の画面が表示されます。

2 番目以降にバックアップしたメディアにバックアップした順に交換してください。交換後、リストアを続行します。



6 リストアが正常に終了すると、画面下に「リストアを完了しました。」と表示されます。



注意！

正常にリストアが終了しない場合、リストア対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度リストアを行ってください。
また、リストアできないファイルやフォルダをスキップしてリストアすることができます。その場合、45ページ手順4 にて「リストアできないファイルがあった場合はスキップして続行」のチェックをつけてください。

参考

バックアップ時からパソコン環境や OS が変わった場合・・・

バックアップジョブが保存されているドライブが、バックアップした時と同じドライブ文字（番号）であれば、リストアすることが可能です。
ただし、バックアップしたときと同じフォルダ構成でリストアするため、同じフォルダ名が存在しない場合は自動的に同じフォルダを作成し、リストアします。

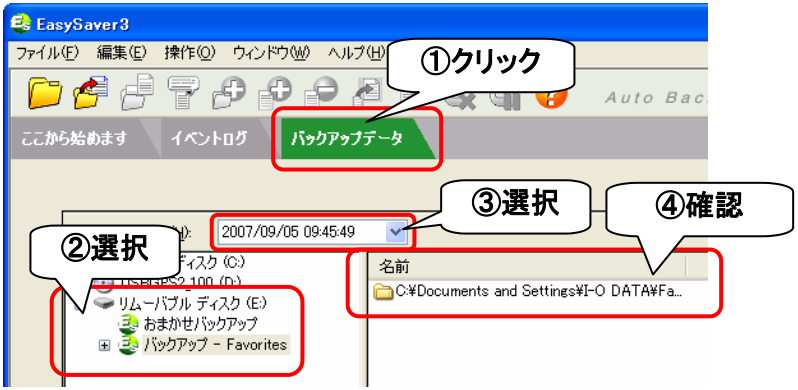
以上でリストアは終了です。

バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する
（バックアップデータブラウジング）

［バックアップデータ］ウィンドウで、バックアップジョブの内容を確認したり、また、ファイル・フォルダ単位でリストアを行うことができます。

（バックアップデータブラウジング）

1 ［バックアップデータ］ウィンドウをクリックし、確認したいバックアップジョブのドライブを選択後、［バックアップ日時］を選択すれば、選択した日時のバックアップジョブの内容を確認することができます。

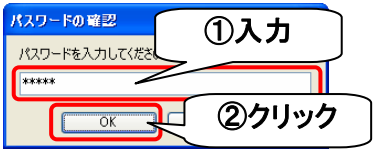


注意！

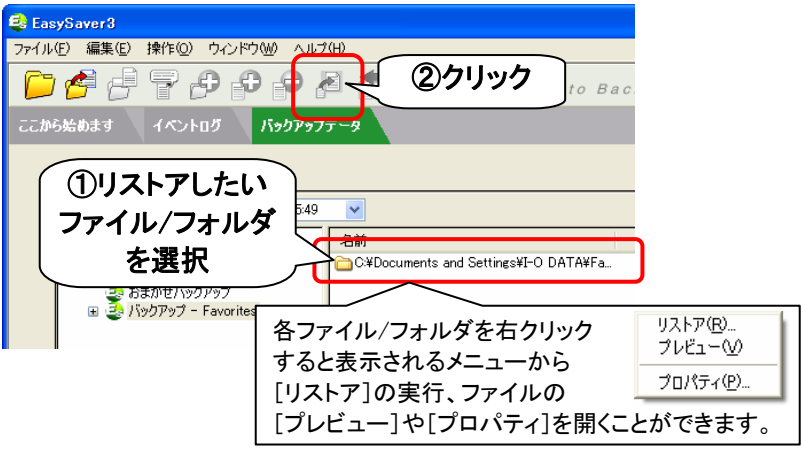
多数のファイルがバックアップされたバックアップジョブを開く場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。（ファイル数にもよりますが、長い場合で 30 分近くかかる場合もあります。）

注意！

バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は以下の画面が表示されます。パスワードを入力後、［OK］ボタンをクリックします。

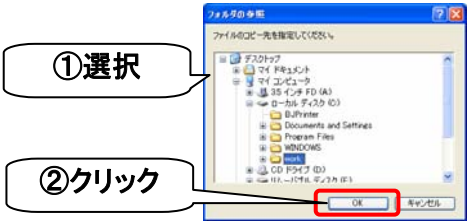


2 リストアをおこなう場合はファイル/フォルダをクリック後、(リストア)ボタンをクリックします。*※エクスプローラやデスクトップにドラッグ&ドロップしてもリストアできます。(10Mバイト以内)*

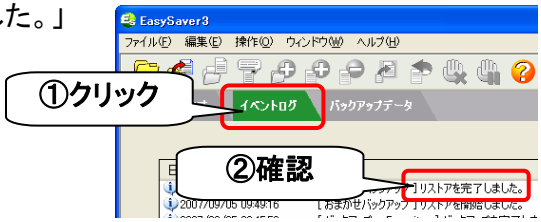


3 リストア先のフォルダを指定し、[OK]をクリックします。

→リストアを開始します。



4 リストアが正常に終了すると、[イベントログ]ウィンドウに「リストアを完了しました。」と表示されます。





参考

バックアップ時からパソコン環境や OS が変わった場合・・・

バックアップジョブが保存されているドライブが、バックアップした時と同じドライブ文字(番号)であれば、リストアすることが可能です。

以上でバックアップジョブの内容の確認・リストアは終了です。

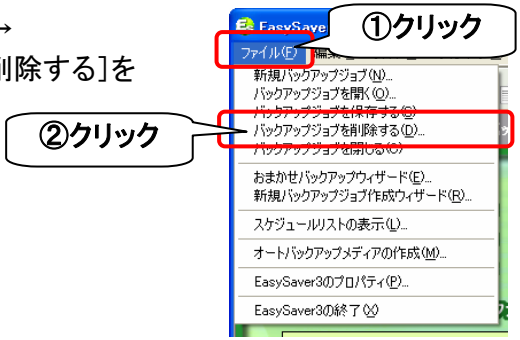
バックアップジョブを削除する

［ファイル］メニューの［バックアップジョブを削除する］で、バックアップジョブを削除することができます。

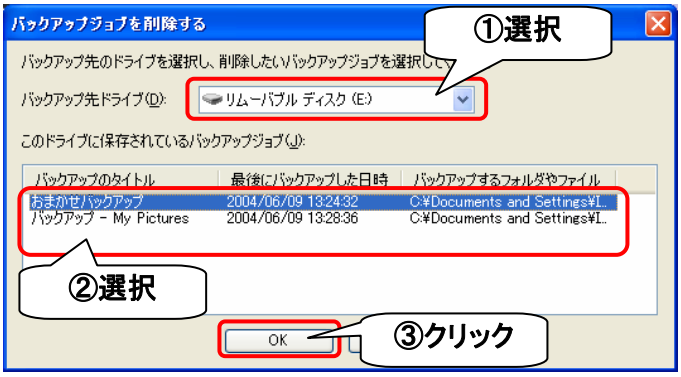
注意！

バックアップジョブを削除すると元に戻りません。
十分確認してから削除してください。

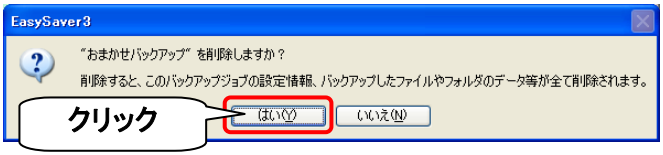
1 メニューの［ファイル］→［バックアップジョブを削除する］をクリックします。



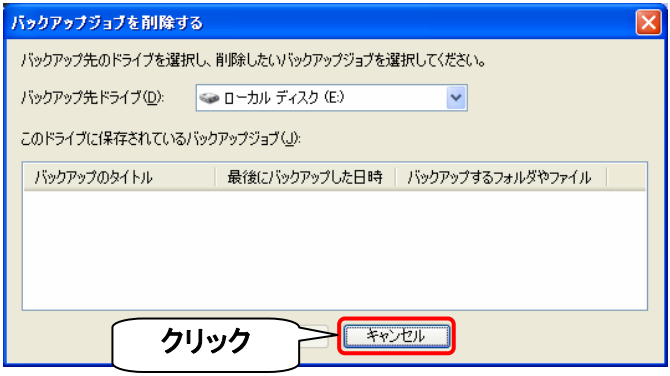
2 ［バックアップ先ドライブ］を選択後、削除する［バックアップタイトル］をクリックし、［OK］をクリックします。



3 ［はい］をクリックすれば、削除されます。



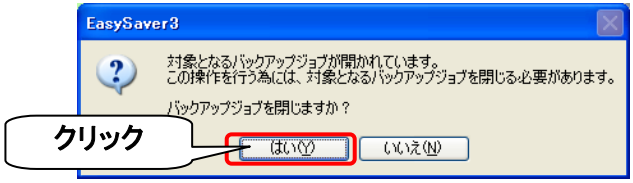
4 さらに削除する場合は*2*, *3*の手順を繰り返します。
終了する場合は[キャンセル]をクリックし、画面を閉じます。



以上でバックアップジョブの削除は終了です。

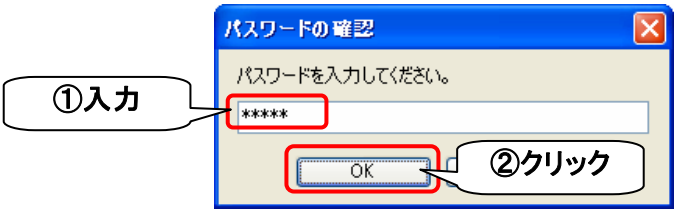
注意！

削除するバックアップジョブが開かれている場合は、以下の画面が表示されます。
[はい]ボタンをクリックします。



注意！

バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は以下の画面が表示されます。
パスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。



オートバックアップメディアを作成する

リムーバブルメディアをオートバックアップメディアとして作成すれば、メディアをドライブにセットするだけで、自動でバックアップを行うことができます。
以下のメディアのみオートバックアップメディアとして使用できます。

対応メディア	MO、DVD-RAM、 パケットライトソフト使用時の CD-R/RW、DVD±R/RW など

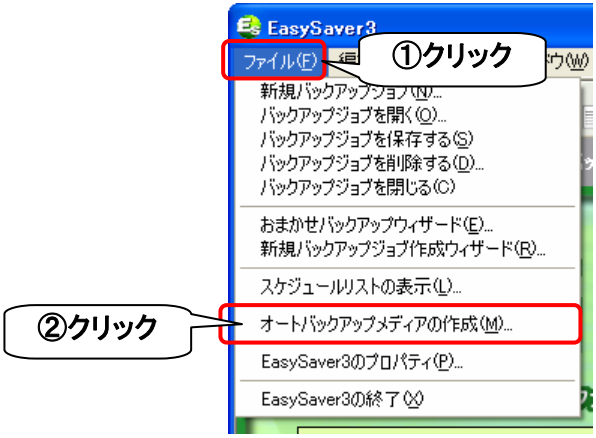
注意！

- **Windows Vista®で CD-R/RW、DVD±R/RW、DVD-RAM メディアを使用する場合、パケットライトソフトは無効にし、Windows Vista®標準のパケットライト機能でフォーマットをおこなってください。**
- **フロッピーディスク、USB メモリー、メモリーカード、iVDR はお使いいただけません。**
- **容量が小さなメディア（MO や Zip 等）に複数枚にわたってバックアップ（分割バックアップ）することはできません。**
- **DVD/CD メディアで作成したオートバックアップメディアは、コンピュータの管理者のアカウント（Administrator 権限）でのみ使用することができます。**

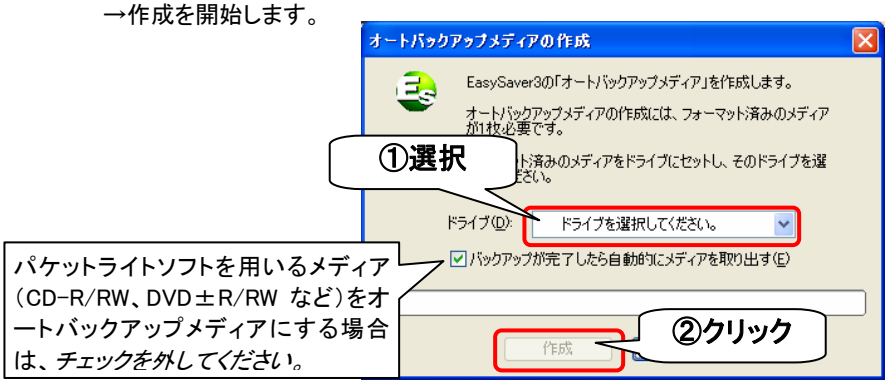
オートバックアップメディアを作成する

1 オートバックアップメディアとして作成するメディアをドライブにセットします。　※メディアはフォーマット済みである必要があります。

2 [ファイル]メニューの[オートバックアップメディアの作成]をクリックします。



3 メディアをセットした[ドライブ]を選択し、[作成]をクリックします。
→作成を開始します。

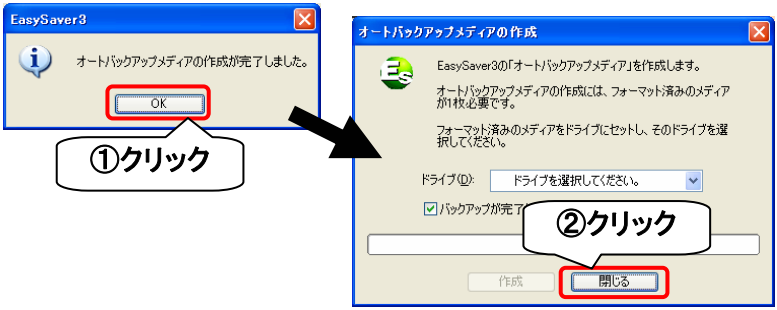


注意！

[バックアップが完了したら自動的にメディアを取り出す]のチェックについて

- **パケットライトソフトを用いるメディア（CD-R/RW、DVD±R/RW など）をオートバックアップメディアにする場合は、チェックを外してください。チェックを外さない場合、作成されたオートバックアップメディアが正常に作動しないことがあります。**
- **Windows XP/2000 で MO、DVD-RAM などのリムーバブルメディアを自動的にイジェクトするには、通常、管理者（Administrator）権限が必要です。[リムーバブルメディア フォーマット/イジェクト権限変更ツール]を使い設定すれば、すべてのユーザーでイジェクトできるようになります。（【リムーバブルメディア フォーマット/イジェクト権限変更ツール】66 ページ参照）**

4 [OK]→[閉じる]をクリックします。

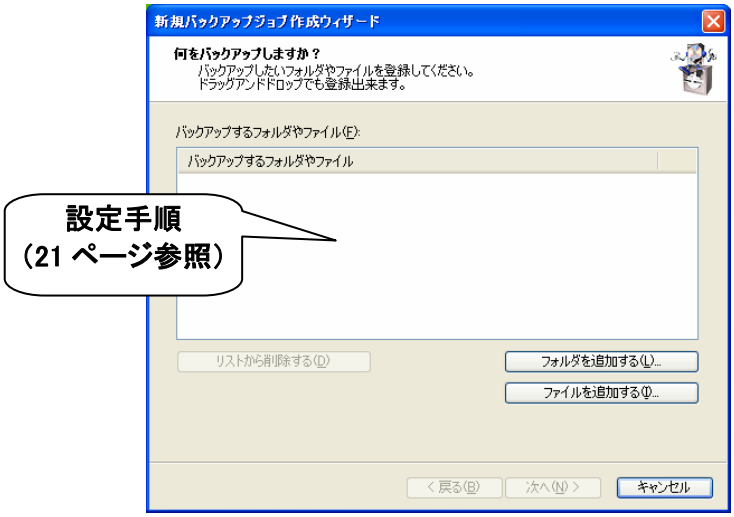


以上でオートバックアップメディアの作成は終了です。
次ページ[オートバックアップメディアを設定する]にお進みください。

オートバックアップメディアを設定する

1 作成したオートバックアップメディアをドライブにセットします。

2 以下の画面が表示されます。
設定手順については、【バックアップジョブを新規作成する】(20ページ)の2 の手順以降を参照してください。



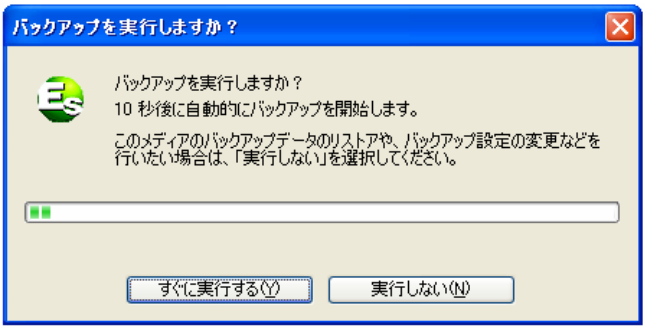
以上でオートバックアップメディアのバックアップジョブの設定は終了です。次ページ[オートバックアップメディアにバックアップする]にお進みください。

オートバックアップメディアにバックアップする

設定したオートバックアップメディアをドライブにセットすれば、自動でバックアップを開始します。

1 作成したオートバックアップメディアをドライブにセットします。

2 以下の画面が表示されます。
[すぐに実行する]をクリックするか、10秒以上待てば、自動で設定した内容でバックアップを開始します。



参考

オートバックアップメディアでバックアップを行わないようにするには、
[Shift]キーを押しながら、オートバックアップメディアをドライブにセットしてください。
バックアップは行われません。

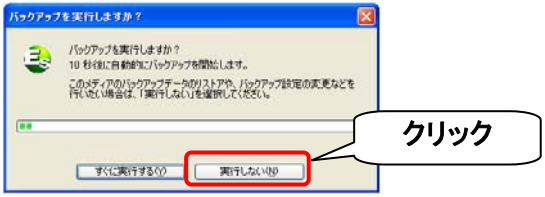
以上でオートバックアップメディアでのバックアップは終了です。

オートバックアップメディアの設定を変更する・リストア（復元）する

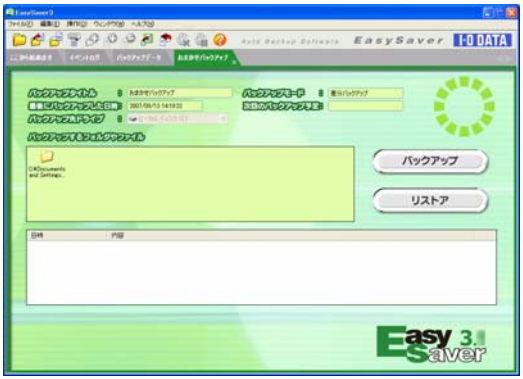
オートバックアップメディアのバックアップジョブの設定を変更したり、リストア（復元）をおこなうには、以下の手順でオートバックアップメディアの動作を停止してからおこないます。

1 作成したオートバックアップメディアをドライブにセットします。

2 以下の画面で、[実行しない]をクリックします。



3 以下の画面が表示されます。リストアや設定変更などを行います。（各設定については【バックアップジョブを開く】29ページ、リストアについては【リストア（復元）する】44ページを参照）



注意！

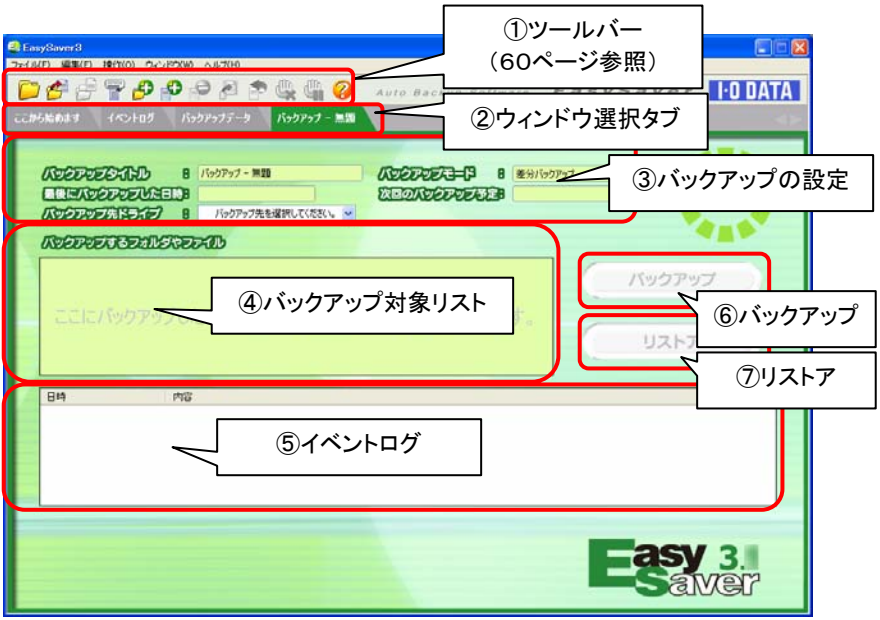
オートバックアップメディアでは（バックアップジョブのプロパティ）でスケジュールの設定はおこなえません。

以上でオートバックアップメディアの設定変更・リストアは終了です。

ふろく

バックアップジョブの画面について……58
ツールバー……60
EasySaver のプロパティについて……61
リムーバブルメディア
フォーマット/イジェクト権限変更ツールについて……65
EasySaver Restore について……66
バックアップ結果の確認について……69
EasySaver の削除……70
困ったときには……71
バックアップ中にスキップする設定……73

バックアップジョブの画面について



①ツールバー

EasySaver を使用する際によく使われるコマンドがアイコンとして表示されており、アイコンをクリックする事でそのコマンドを実行する事ができます。

現在使用できるアイコンはカラーで、使用できないアイコンはグレーで表示されます。

②ウィンドウ選択タブ

「ここから始めます」「イベントログ」「バックアップデータ」「ジョブウィンドウ」などのウィンドウの内、どのウィンドウを表示するかを選択するためのものです。

タブには各ウィンドウの名前が表示されていますので、表示したいウィンドウのタブをクリックする事で、そのウィンドウを表示する事ができます。現在表示されているウィンドウのタブは緑色で表示されます。

複数のジョブウィンドウを開いて、タブをウィンドウ内に表示し切れなかった場合には、右端の ◀ ▶ をクリックする事でウィンドウ内に表示するタブを切り替える事ができます。

③バックアップの設定

このバックアップジョブの基本的な設定などがここに表示されます。

④バックアップ対象リスト

バックアップ対象のフォルダやファイルがここに表示されます。
バックアップしたいフォルダやファイルを登録する場合には、エクスプローラ等からこのウィンドウに直接ドラッグアンドドロップする事もできます。

⑤イベントログ

このバックアップジョブのバックアップやリストア処理中の処理の内容や、発生したエラーなどがここに表示されます。新しい内容が一番上の行に表示されます。

⑥バックアップ

現在表示されているバックアップジョブでバックアップを開始します。

⑦リストア

現在表示されているバックアップジョブでリストアを開始するためのリストアウィザードを表示します。

ツールバー

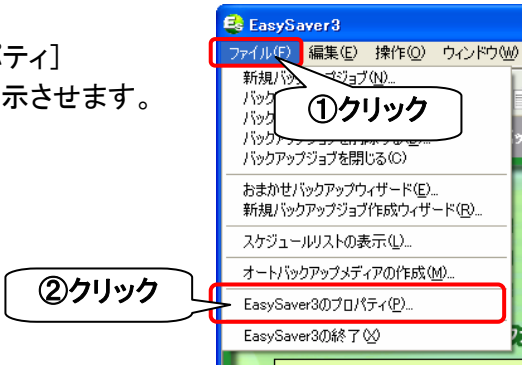
EasySaver を使用する際によく使われるコマンドがアイコンとして表示されており、アイコンをクリックする事でそのコマンドを実行する事ができます。現在使用できるアイコンはカラーで、使用できないアイコンはグレーで表示されます。

	新規バックアップジョブ	新規に空のバックアップジョブを作成します。
	バックアップジョブを開く	既存のバックアップジョブを開きます。
	バックアップジョブを保存する	現在表示されているバックアップジョブを保存します。
	バックアップジョブのプロパティ	現在表示されているバックアップジョブの設定を変更します。
	バックアップ対象フォルダの追加	現在表示されているバックアップジョブに、バックアップ対象のフォルダを追加します。
	バックアップ対象ファイルの追加	現在表示されているバックアップジョブに、バックアップ対象のファイルを追加します。
	バックアップ対象ファイルの削除	バックアップ対象リストで選択されているバックアップ対象フォルダ／ファイルを、バックアップ対象リストから削除します。
	バックアップ	現在表示されているバックアップジョブでバックアップを開始します。
	リストア	現在表示されているバックアップジョブでリストアを開始するためのリストアウィザードを表示します。
	中止	現在表示されているバックアップジョブで実行中のバックアップ／リストアを中止します。
	一時停止/再開	現在表示されているバックアップジョブで実行中のバックアップ／リストアを一時停止／再開します。
	ヘルプ	EasySaver のヘルプウィンドウを表示します。

EasySaver のプロパティについて

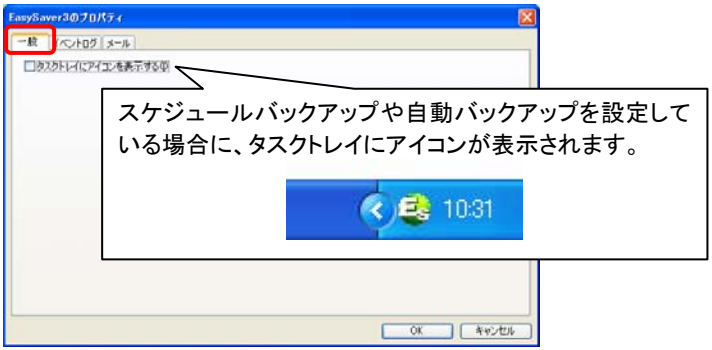
「EasySaver3 のプロパティ」画面では、タスクトレイにアイコンを表示する設定や、イベントログの設定、バックアップ結果のメール送信設定をおこなうことができます。

［ファイル］メニュー→
［EasySaver3のプロパティ］
でプロパティ画面を表示させます。



○「EasySaver3 のプロパティ」画面の詳細

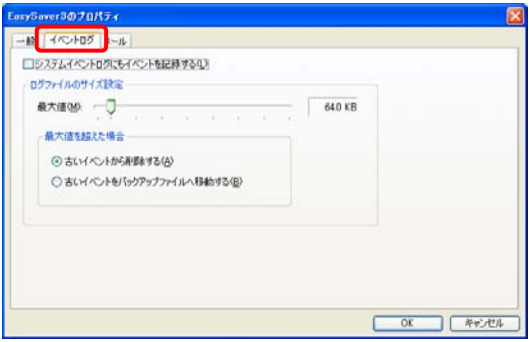
◎［一般］タブ



注意！

- **スケジュールバックアップ・自動バックアップを設定していない場合には、上記の設定を行ってもアイコンは表示されません。（スケジュールバックアップ・自動バックアップについては、【バックアップジョブを設定する】33ページ参照）**
- **タスクトレイにアイコンを表示する・しないの設定に関わらず、スケジュールバックアップ・自動バックアップの設定を行うと、EasySaver は常駐します。**

◎[イベントログ]タブ



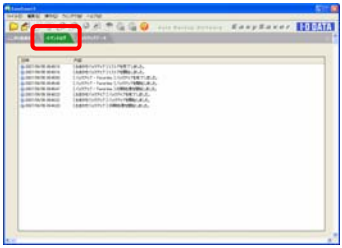
システムイベントログにもイベントを記録する	Windows のアプリケーションイベントログにもイベントを記録します。 ※ この機能は、Windows Vista®の管理者(Administrator)及び標準ユーザー、Windows XP/2000 の管理者(Administrator)権限でのみご使用になれます。	
	ログファイルのサイズ設定	
	最大値	イベントログファイルのサイズの上限を指定します。「64KB～512KB」の範囲で設定します。
	最大値を超えた場合	イベントログファイルのサイズが、上記の「最大値」で設定した値を超えた場合の対処方法を設定します。 ・古いイベントから削除する 古いイベントから順に、上記「最大値」を超えたサイズの分だけイベントが削除されます。 ・古いイベントをバックアップファイルへ移動する 古いイベントから順に、上記「最大値」を超えたサイズの分だけ残してバックアップイベントログファイルへイベントが移動されます。

参考

イベントログの確認方法

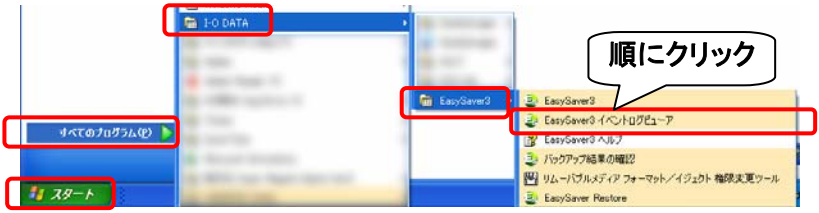
イベントログウィンドウまたは EasySaver イベントログビューアで確認できます。

▼イベントログウィンドウ

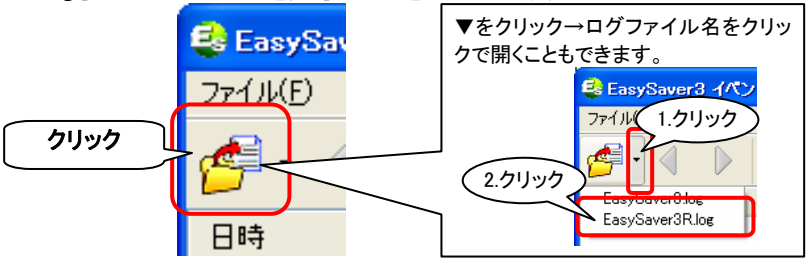


▼EasySaver イベントログビューア

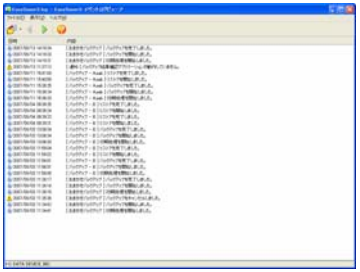
①[スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver3]→[EasySaver3 イベントログビューア]の順にクリックします。



②[イベントログファイルを開く]アイコンをクリックします。



③イベントログファイルを確認することができます。



◎[メール]タブ



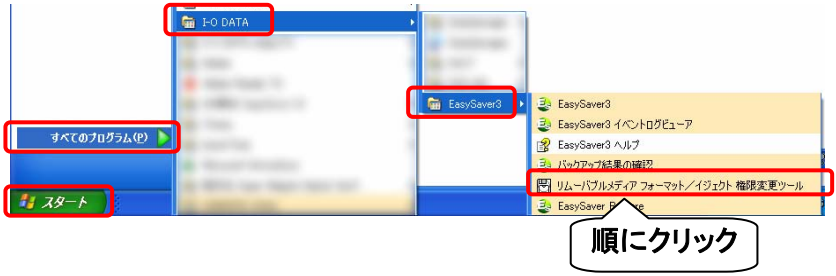
バックアップ結果をメールで送信する	バックアップ終了時に、バックアップ結果（イベントログ）をメールで送信します。 *※お使いのプロバイダによっては正常にご利用いただけない場合があります。予めご了承ください。*	
	SMTP サーバー	SMTP サーバーのアドレスを指定します。
	送信元アドレス	送信するメールの送信元となるメールアドレスを指定します。
	送信先アドレス	送信するメールの宛て先となるメールアドレスを指定します。複数の宛て先に送信したい場合には、各メールアドレスを「;」（セミコロン）で区切って入力してください。
	メール送信時の条件	どのような場合にメールを送信するかを指定します。（複数指定する事ができます。）
	テストメール送信	クリックすると設定した宛て先にテストメールを送信します。
	POP before SMTP を使用する	チェックすると、POP before SMTP を使用します。 *・POP3 サーバー* POP3 サーバーのアドレスを指定します。 *・POP3 アカウント* POP3 アカウント名を指定します。 *・POP3 パスワード* POP3 パスワードを指定します。 *・POP3 ポート* POP3 ポート番号を指定します。 *・POP3 承認待ち時間* POP3 承認待ち時間を指定します。

リムーバブルメディア フォーマット／イジェクト権限変更ツールについて

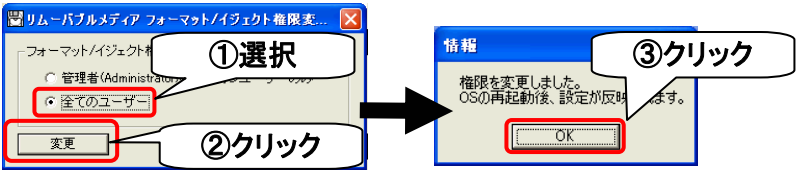
「オートバックアップメディア」機能では、バックアップ完了後にメディアを自動的に取り出すように指定する事が出来ます。
但し、Windows XP/2000 では、コンピュータの管理者(Administrator)権限以外でログオンしている場合には、リムーバブルメディアを自動的に取り出す事が出来ません。この場合には、「リムーバブルメディア フォーマット/イジェクト権限変更ツール」でメディア取り出しの為の設定を行ってください。
※Windows Vista®では設定不要です。

1 コンピュータの管理者（Administrator）アカウントでログオンします。

2 [スタート]→[（すべての）プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver3]→[リムーバブルメディア フォーマット／イジェクト権限変更ツール]の順にクリックし開きます。



3 [全てのユーザー]を選択し、[変更]→[OK]をクリックします。



4 パソコンを再起動します。再起動後、設定が有効になります。

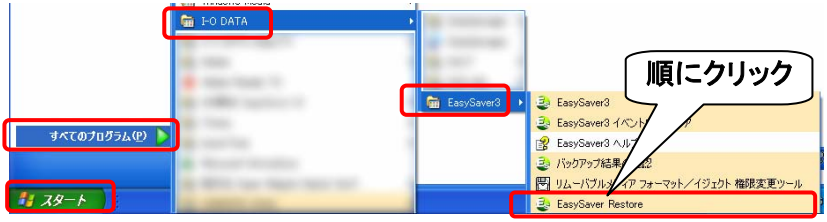
以上で「リムーバブルメディア フォーマット/イジェクト権限変更ツール」の設定は完了です。

EasySaver Restore について

他の弊社製 EasySaver（EasySaver や EasySaver LE 等）で作成されたバックアップジョブを開き、バックアップジョブの確認・リストアすることができます。

1 [スタート]→[（すべての）プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver 3]→[EasySaver Restore]の順にクリックし開きます。

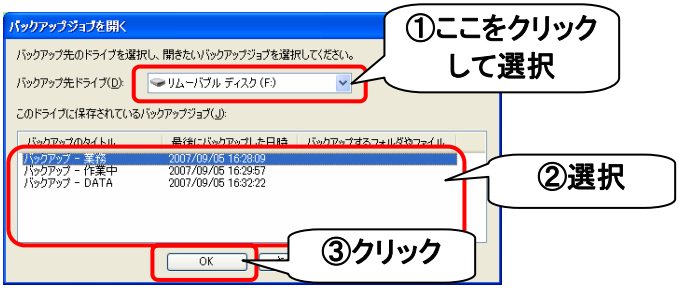
（画面例：Windows XP）



2 [バックアップジョブを開く]ボタンをクリックします。



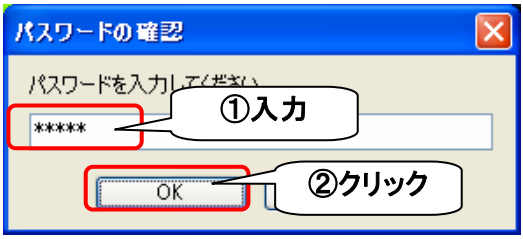
3 他のEasySaverで以前にバックアップジョブを保存したドライブを選択します。
以前にバックアップしたバックアップジョブが表示されますので、選択後、[OK]をクリックします。



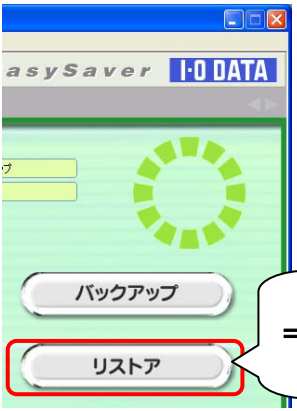
注意！

多数のファイルがバックアップされたバックアップジョブを開く場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。（ファイル数にもよりますが、長い場合で 30 分近くかかる場合もあります。）

4 バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は、以下の画面が表示されます。
設定したパスワードを入力後、[OK]をクリックします。



5 リストア（復元）を行う場合は リストア （リストア）をクリックします。



以上で、バックアップ結果の確認は完了です。

参考

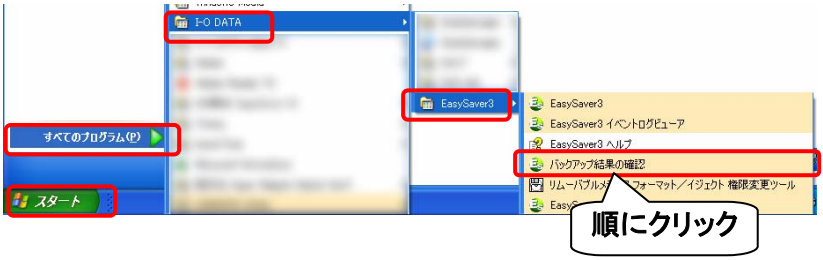
バックアップデータタブからも他の EasySaver のバックアップジョブの確認やリストアすることができます。
（48ページ【バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する（バックアップデータブラウジング）】参照

バックアップ結果の確認について

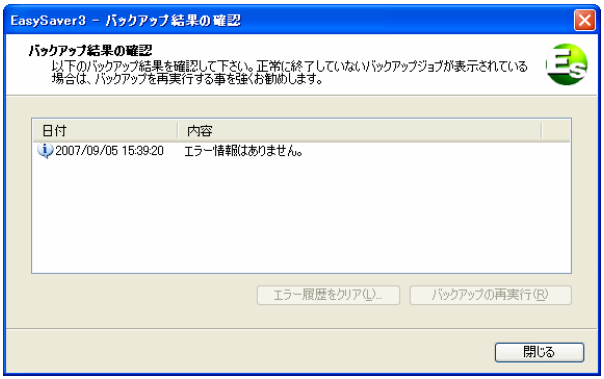
前回のバックアップが正常に終了していない可能性がある場合、パソコン起動時、バックアップ結果の確認ウィンドウが自動的に表示される場合があります。表示されているジョブは前回正常に終了しなかったジョブですので、再実行することをお勧めします。

また、以下の手順でもエラー情報を確認することができます。

1 [スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver3]→[バックアップ結果の確認]の順にクリックし開きます。



2 バックアップ結果を確認し、正常に終了していないバックアップジョブが表示されている場合は、バックアップの再実行することをお勧めします。



以上で、バックアップ結果の確認は完了です。

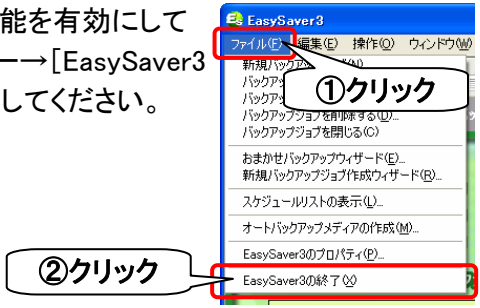
EasySaver の削除

インストールした EasySaver の削除方法について説明します。

注意！

・Windows Vista®/XP/2000 では、コンピュータの管理者のアカウント（Administrator 権限）でログオンしてください。

1 スケジュールバックアップ機能を有効にしている際は、[ファイル]メニュー→[EasySaver3の終了]でEasySaverを終了してください。



2 [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]の順にクリックします。

3
・Windows Vista®の場合
[プログラムのアンインストールまたは変更]をクリックします。
・Windows XPの場合
[プログラムの追加と削除]をクリックします。
・Windows 2000の場合
[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

4
・Windows Vista®の場合
[EasySaver3]をクリックし、[アンインストール]をクリックします。
※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は[続行]をクリックします。
・Windows XP/2000の場合
[EasySaver3]をクリックし、[削除]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [完了]ボタンをクリックします。

以上で、インストールした EasySaver の削除は完了です。

困ったときには

トラブルの状態をご覧ください。またヘルプでも「よくある質問」や「エラーコード一覧」をご覧いただけます。

「サービス通信コマンドの送信の為のパイプ接続に失敗しました。EasySaver を終了します。」と表示され、EasySaver が起動せずに終了してしまう。

対処①	再度EasySaverを起動しなおしてください。
対処②	Windowsを再起動し、その後EasySaverを起動しなおしてください。

バックアップ時にエラーが発生する

原因	他のアプリケーションなどが、バックアップ対象のファイルを使用している可能性があります。
対処	バックアップ時は、バックアップ対象のファイルを使用するアプリケーションを全て終了させてください。ファイルがロックされていたり、ファイル/フォルダに特殊な文字が使用されている場合などには、バックアップすることができません。その場合、そういったファイル/フォルダをスキップする事でバックアップする事ができます。詳しくは、次ページ[バックアップ中にスキップする設定]を参照してください。

リストア時にエラーが発生する

原因	リストア先に同じ名前のファイルが存在する場合の上書き確認画面で、[すべて上書き]を選択すると、「アクセスが拒否されました」というエラーが発生する場合があります。
対処	[すべて上書き]ボタンを使用せず、[はい]をクリックして先へ進むようにしてください。

バックアップモードを変更できない

原因	一度バックアップを実施した後は、バックアップモードは変更できません。

「ジョブファイルが見つかりません」のエラーが発生する

原因	スケジュールが設定されているバックアップジョブをエクスプローラ等から削除してしまったり、ドライブやメディアをフォーマットしてしまったためです。
対処	[ファイル]→[スケジュールリストの表示]からバックアップスケジュールを削除してください。([バックアップスケジュールを確認・削除する]42ページ参照)

ジョブ名が設定されているバックアップジョブを開いたのに、ジョブ名が無題と表示される

原因	バックアップファイルが壊れてしまったためです。
対処	バックアップファイルが保存されているドライブにチェックディスク等を行ってください。

バックアップ中にスキップする設定

ファイルをバックアップできない状況には、以下のようなものがあります。
以下のような場合は、バックアップ中にスキップする設定を行ってください。

・ファイルがロックされている

一部のアプリケーションでは、使用中のファイルを他のアプリケーションから読み取られないようにロックする場合があり、そのようなファイルはバックアップする事ができません。

基本的には、全てのアプリケーションを終了してからバックアップを実行する事をお勧めしますが、常時起動しているアプリケーションが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合などに、次ページの手順でスキップする事ができます。

・ファイル／フォルダ名に特殊な文字が使用されている

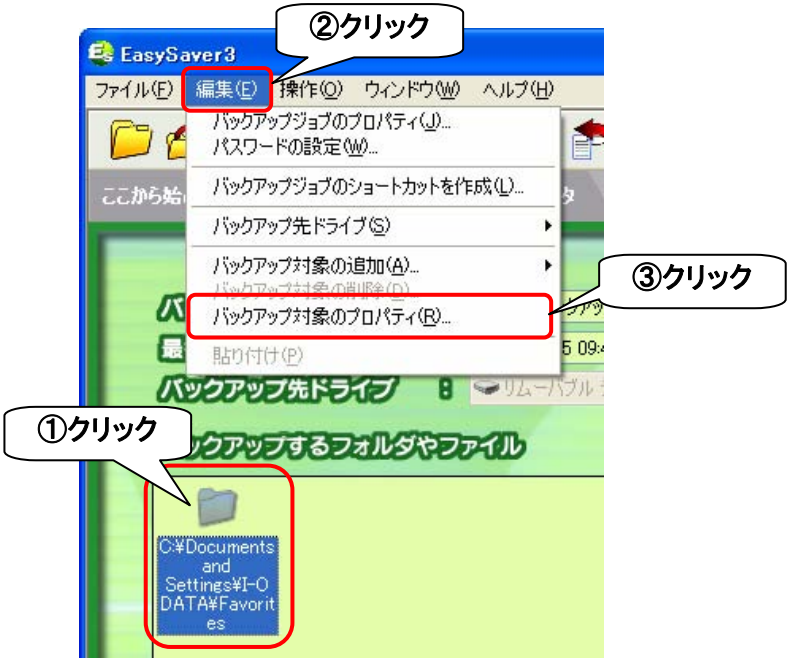
一部の特殊な文字をファイル名に使用しているとバックアップできない場合があります。

そのようなファイルも、次ページの手順でスキップする事ができます。

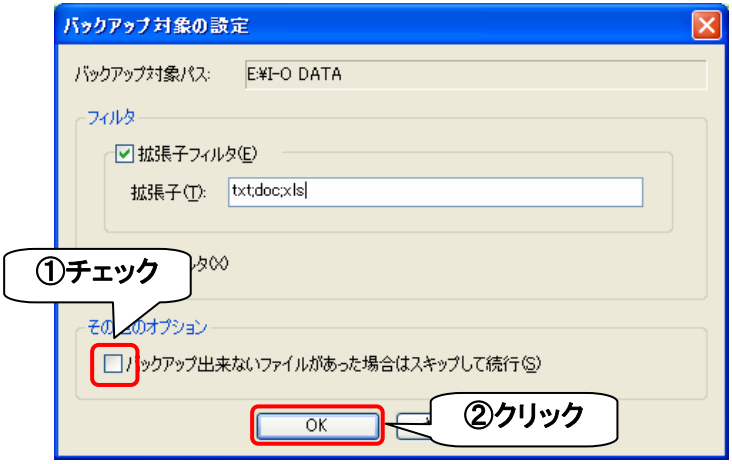
※スキップされたファイル名はイベントログに表示されます。ファイル名中の「?」で表示されている部分が該当する文字です。

1 【バックアップジョブを開く】(29ページ)の手順で、バックアップが正常にできないバックアップジョブを開きます。

2 バックアップ対象リストでスキップを設定するフォルダやファイルを選択後、メニューの[編集]→[バックアップ対象のプロパティ]をクリックします。



3 [バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行]をチェックし、[OK]をクリックします。



バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行	このチェックボックスをチェックすると、バックアップ中に、バックアップできないファイルが見つかった場合でも、エラー終了せずにそのファイルをスキップしてバックアップを続行するようになります。

4 

(バックアップ)をクリックし、正常にバックアップできることをご確認ください。

お問い合わせ

本ソフトウェアに関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などが紹介されていますのでご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
News など

本ソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3688** 東京…**03-3254-1095**
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSと本ソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

EasySaver 3.x取扱説明書　2008.4.18
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

Copyright © 2007-2008 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.